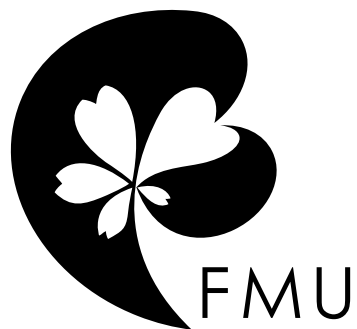


# 福島県立医科大学要覧



平成 22 年

— シンボルマークについて —

福島県立医科大学らしさを視覚化したもので緑とサクラとFの文字を組み合わせている。

立志哲洋氏（東京都在住）の作品  
平成20年11月2日制定



福島県立医科大学全景

(平成13年5月撮影)

# 目 次

1	理 念 等	1
2	沿 革	5
3	歴代理事長、部局長等	11
4	施設の概要	18
	(1) 名称及び所在地	18
	(2) 校 地	18
	(3) 校舎等建物	18
5	組織機構図	21
6	役 職 員	23
7	名 誉 教 授	27
8	運 営 概 況	28
	(1) 所属別職員数	28
	(2) 医学部・看護学部の主な研究題目	29
	(3) 大学学生数	35
	(4) 大学院学生数	35
	(5) 学位授与者数	36
	(6) 卒業生の状況	37
	(7) 解剖件数	38
	(8) 教員等の海外出張状況	39
	(9) 図書館現況	40
	(10) 平成21年度図書館利用状況	40
	(11) 平成21年度文献相互貸借状況	40
	(12) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金額	41
	(13) 厚生労働科学研究費補助金額	42
	(14) 病類別病床数	42
	(15) 等級別病室数病床数室料差額	42
	(16) 分娩取扱件数	42
	(17) 臨床検査件数	43
	(18) 病理部検査件数	43
	(19) X線等照射件数	43
	(20) 手 術 件 数	44

⑴	調剤薬処方数	45
⑵	平成21年度薬剤管理指導算定数	46
⑶	病理解剖件数	48
⑷	診療科別患者数	49
⑸	診療項目別稼働額	51
⑹	公立大学法人福島県立医科大学平成21年度決算に係る貸借対照表及び損益計算書	53
⑺	公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画	54
9	配置図	56
10	施設概要	57
11	位置図	61

# 1 理 念 等

## 福 島 県 立 医 科 大 学 の 理 念

(平成15年3月26日制定)

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。

もとより医療は、医学と看護学が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることが本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

- 1 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。
- 2 最新かつ高度な医学および看護学を研究・創造する。
- 3 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。

# 福島県立医科大学ビジョン

(平成20年11月2日制定)

## I 県民医療の原点としての福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、

人々の健康を守る優れた医療人を育成し、

医療における“福島モデル”の創出を目指します」

福島県立医科大学は明治初頭からの伝統を受け継ぐ医療人育成の“原点”です。医療分野の大転換期を迎えつつある今、福島県立医科大学は医学・看護学の未来を世界的視野で捉え、国民が直面する医療問題を解決する強い意思を持ち、最新かつ高度な知識と技術を駆使する医療人育成のために新たな決意をします。教員は教育力を不断に高め、学ぶものの期待に応えるカリキュラムを整え、学生の自主的学習態度を養成し、創造性豊かな世界に通じる研究活動を展開します。附属病院は特性を活かした医療を実践し、学生・研修生にとって魅力ある研修プログラムを提供し、県内外医療施設との密接な連携により互いに診療・教育力を高め、総合性と専門性をバランス良く活かせる医師・看護師教育を行います。また、その成果を県民そして国民の皆様に還元することにより、医療における“福島モデル”の創出を目指します。

## II 学生を魅了する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、

向学心に燃えた“次世代の学生”が集う“魅力”ある大学を目指します」

直面する様々な医療問題を克服するためには若き医療人の力が必要不可欠です。このため大学には、希望ある未来社会づくりに貢献する有為な人材育成が求められています。本学の学生は、勉学に励み、ひとのいのちと尊厳を尊び、誠実で信頼される医療人となり、社会に貢献することを自らの使命と感じています。福島県立医科大学は、この学生の純粋な使命感を尊重し、整備された環境のもとで質の高い教育を提供し、地域や国際社会との活発な交流を重視し、世界に誇れる特色と個性を持つ大学づくりを目指します。自ら向上しようとするものに良質な教育環境を提供することにより、学ぶものが誇りと高い倫理観を持ち、活気に溢れ、勉学や課外活動に意欲的に取り組む大学、そして向学心に燃えた“次世代の学生”が集う“魅力”ある大学を目指します。

## III 世界標準となる新しい医療を創る福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、

“連携力・研究力”で世界に通じる新たな医療の創出を目指します」

今、私たちが恩恵を受けている先進医療は過去の研究成果の上に成り立っています。しかし、依然として難病は難病として残され、医療を取り巻く社会制度の困難さも解消していません。私たち

は、これら多くの問題の「粹」を抽出・解決し、次世代の医療に繋げていく責務を有しています。本学の強みは地域連携と大学内連携を基盤とする研究力です。今抱える多くの問題に対し、この連携の中に回答を見出そうと思います。国内外の大学、地域産業界および国や県の政策との連携も視野に含まれます。福島県の生命科学・医学・看護学の中心拠点として、これら数々の連携を支え、新たな知と技の創造に貢献します。そして、その成果を日本国内のみならず世界へ発信していきます。本学は“連携力・研究力”で世界に通じる新たな医療の創出を目指します。

#### Ⅳ 心通う保健医療を追究する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、

**人々の声に耳を傾け、“心通う保健医療”の実現を目指します」**

今日の健康問題は保健医療のみに留まらず、環境・経済・ライフスタイルなど人々の暮らし全体に波及しています。“生涯にわたる健康な暮らし”を実現していくためには、“病（やまい）”を持つ人も持たない人も、すべてが健康問題を自らの課題として取り組んでいく必要があります。私たちは医学および看護学の教育・研究・実践を通して、すべての人々のための保健医療のあり方を追究するとともに、病む人々が安心と満足を感じられる治療・看護の実践を目指します。人々の声に耳を傾け、“病（やまい）”についての正しい知識・情報を提供し、病む人々が自己決定に基づく治療・看護を受けられるよう支え、21世紀に求められる住民参加型の“心通う保健医療”の実現を推進します。多様な職種の医療人がそれぞれの専門性を生かし、チーム医療・地域連携医療を展開し、きめ細かい温かみのある医療を提供します。

#### Ⅴ 常に発展する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、“自らの意志”で将来を展望し“進化”し続けます」

法人化により今、福島県立医科大学にはより一層の多様性・柔軟性・独創性が求められています。自由裁量は拡大しましたが、それと引き替えに一層厳しく自らを律する必要性にも迫られています。人々の声に謙虚に耳を傾け、成功と失敗を積み重ねながらも、将来への道を自ら選択し実行していく必要があります。その過程で、時代を超えて変わらない医療の本質を見極め、将来を担う柔軟な発想と挑戦する意欲を持った若い世代を育てなければなりません。そして、激動する社会の変化に対応しながら、県民には安心の医療を、学生には魅力ある教育を、働くものには仕事に生きがいを感じる良質な環境を提供し続けなければなりません。この目的達成のため、広く意見を求め、現状を分析し、問題点を明らかにし、人材を適所に配置して大学の機能をさらに高めていきます。そして本学はこのビジョンを常に発展させながら“自らの意志”で将来を展望し“進化”し続けます。



## ● 医学部

### ○教育理念

福島県立医科大学医学部は、心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

### ○教育目標

“君の持つ力を見つけ出して育てよう”

心：真摯な心、共感する心、探求する心

知：命を救う知識、病める人を癒す知恵、明日を生きる知性

技：確かな技、未知に挑む技、未来へ繋ぐ技

和：患者や家族との和、働く仲間との和、地域や世界の人々との和

地：地域に学ぶ、地域を創る、地域から発信する

## ● 看護学部

### ○教育理念

人間の存在と生命の尊厳を深く理解することのできる豊かな感性と人間性を形成するとともに、看護を必要としている人との相互の働きかけを基盤に、人が本来備えている健康を守ろうとする力を最大限に発揮できるように援助することを通して、看護専門職者としての能力を養う。

また、社会の変化に対応した看護職の役割を認識し、保健医療福祉に関わる広い領域で、将来リーダーとして活躍できる看護専門職者を育成するとともに研究を通して看護学の発展に寄与する。

### ○教育目標

学部の教育理念に基づき、次のような学生を育成することを教育の目標とする。

- 1 人間へ暖かな関心を持ち、生命の尊厳や人権について深く理解することができる。
- 2 自己を洞察する力を養うとともに、他者とのコミュニケーションを通してよりよい人間関係を築くことができる。
- 3 さまざまな事象や現象に対して、論理的かつ批判的に思考することができる。
- 4 看護の基本となる系統的な知識を看護の研究や実践に生かすことのできる応用力や想像力を養う。
- 5 保健医療福祉の状況変化に即した専門的看護技術を習得するとともに、理論と経験を統合し、適切な判断に基づいた看護を実践することができる。
- 6 責任ある行動を重んじ、保健医療福祉の担い手として他のチームメンバーと協力しながら、積極的に変革を推進していくことのできるリーダーとしての能力を養う。
- 7 地域社会の人々のニーズを把握し、必要に応じて情報提供や施策に結びつく提言をすることができる。
- 8 社会における看護専門職者の役割を認識し、学術的、国際的な活動に参加することができる。

## 2 沿 革

- 昭和19.1.10 福島県立女子医学専門学校設立認可。
- 〃 19.4.1 1 学年定員120人と決定（4年制）。  
公立福島病院は福島県立女子医学専門学校附属医院となる。
- 〃 22.6.18 医科大学（旧制）設立認可。  
医科大学予科開設認可。学則制定。1 学年定員40人（修業年限3年）。
- 〃 25.3.30 医科大学医学部（旧制）開設認可。1 学年定員40人（修業年限4年）。  
本部、基礎医学教室（解剖学、生理学、生化学、薬理学、細菌学）福島市三河北町に置く。基礎医学教室（病理学、法医学、衛生学）、臨床医学教室（附属病院）、附属中央研究所福島市杉妻町に置く。
- 〃 25.6.18 医科大学開学記念行事挙行。
- 〃 26.3.31 女子医学専門学校廃止。女子医学専門学校附属医院廃止。  
医科大学予科廃止。
- 〃 26.4.1 旧女子医学専門学校附属医院は、福島県立医科大学附属病院となる。
- 〃 26.10.16 精神科学教室、同病棟を福島市渡利に新築移転。
- 〃 27.2.20 医科大学（新制）設置認可。
- 〃 27.4.1 医科大学（新制）開設認可。1 学年定員40人（修業年限4年）。  
県立高等厚生学院が医科大学附属高等厚生学院となる。
- 〃 28.1.28 公衆衛生学教室福島市三河北町に新築。
- 〃 28.6.29 医科大学本部福島市三河北町に新築移転。  
本部跡に衛生学教室を移転。  
法医学教室、細菌学教室を福島市三河北町に新築移転。
- 〃 29.3.10 附属高等厚生学院を医科大学附属看護学校と改称。
- 〃 30.1.20 医科大学進学課程設置認可。
- 〃 30.4.1 医科大学進学課程開設。1 学年定員40人（修業年限2年）。  
病理学第二教室開設。
- 〃 30.11.1 福島県立飯坂病院が医科大学附属病院飯坂分院となる。
- 〃 33.4.1 解剖学第二講座開設。
- 〃 33.9.30 福島県行政組織規則の改正により教室は講座と改称。
- 〃 34.4.1 生理学第二講座開設。
- 〃 34.5.25 医科大学本部（福島市三河北町）福島市上町に移転。
- 〃 34.10.31 学位審査権認可。
- 〃 35.4.6 R I 研究室設置認可。
- 〃 35.12.2 医科大学本部（福島市上町）福島市舟場町に移転。
- 〃 36.3.24 附属病院改築第7期工事完了（この工事により附属病院の改築は全館完了）。

- 昭和36.3.31 医科大学大学院設置認可。
- 〳 36.4.29 大学院開設並びに附属病院改築工事落成記念式挙行。
  - 〳 36.5.19 解剖学第一講座（福島市三河北町）福島市舟場町（医科大学本部建物）に移転。
  - 〳 37.3.22 解剖学第二講座（福島市三河北町）福島市舟場町（医科大学本部建物）に移転。
  - 〳 37.12.15 基礎医学校舎第1次建築工事完了。
  - 〳 37.12.20 学生定員増承認（40名を60名に増員）。
  - 〳 38.8.1 町名改正により、医科大学本部及び基礎校舎の所在地は福島市杉妻町5番75号に、附属病院は杉妻町4番45号に変更。
  - 〳 41.4.1 麻酔科学講座新設。
  - 〳 41.10.8 看護婦寄宿舍完成。
  - 〳 42.4.1 泌尿器科学講座分離新設。
  - 〳 42.7.31 附属病院特殊放射線棟完成。
  - 〳 42.10.18 飯坂分院廃止。
  - 〳 43.4.1 新学則を制定。進学課程は教養課程と名称変更。  
がん診療部開設。
  - 〳 44.1.22 大学院学生定員変更協議書受理される。  
（25人を27人に変更。実施時期昭和44年4月1日）
  - 〳 44.2.28 校舎（本館）第2次建築工事完了。
  - 〳 44.9.1 附属リハビリテーション研究所（福島市飯坂町）新設。
  - 〳 45.8.31 図書館、体育館完成。
  - 〳 45.10.15 附属中央研究所内に公害医学研究室新設。
  - 〳 46.1.12 学生定員増承認（60名を80名に増員）。
  - 〳 46.2.15 学生クラブ棟完成。
  - 〳 46.3.19 附属看護学校が総合衛生学院内（福島市渡利）に移転。
  - 〳 46.10.9 創立20周年記念式典挙行。
  - 〳 46.12.9 武道館完成。
  - 〳 47.10.25 神経精神科病棟を本院に吸収。渡利神経精神科病棟を解体。
  - 〳 48.6.15 R I 棟完成。
  - 〳 57.4.1 脳神経外科学講座新設。
  - 〳 58.4.1 核医学講座新設。
  - 〳 58.9.16 大学歌「光の鳥」制定。
  - 〳 62.4.1 附属研究所内に実験動物研究室新設。
  - 〳 62.6.1 事務局の病院課を廃止し、施設管理課と医事課を新設。  
附属中央研究所を附属研究所と改称。  
附属放射性同位元素研究室を放射線生物学研究室に改称し、附属研究所に編入。  
附属研究所に実験動物研究室を新設。  
附属病院に歯科、集中治療部、病理部、輸血部、材料部、病歴部を新設。

附属病院中央臨床検査部を検査部に、中央レントゲン部を放射線部に、中央手術部を手術部に改称。

附属病院（福島市杉妻町）福島市光が丘に移転。

昭和63.4.1 医科大学本部（福島市杉妻町）福島市光が丘に移転。

〃 63.10.29 開学40周年記念式典挙行。

平成元.4.1 生化学第二講座新設。病院に神経内科、心臓血管外科新設。

生化学講座は生化学第一講座に名称変更。

〃 5.4.1 病院に救急科を新設。

同窓会から同窓会館（光が丘会館）を寄附受領。

〃 6.4.1 附属研究所を生体情報伝達研究所、放射性同位元素研究施設及び実験動物研究施設に再編整備。

〃 6.6.11 創立50周年記念祝賀会開催。

〃 7.4.1 神経内科学講座、心臓血管外科学講座、臨床検査医学講座を新設。

病院に新生児集中治療部を新設。

〃 8.3.31 核医学講座廃止。

〃 8.4.1 放射線科学講座を放射線医学講座と改称。

〃 9.3.31 がん診療部廃止。

〃 9.9.6 開学50周年記念式典挙行。

〃 9.12.19 看護学部設置認可。

〃 10.4.1 看護学部開設。1学年定員80人、3年次編入学定員10人（修業年限4年）。

学則を改正。医学部の基礎医学は生命科学・社会医学系に、臨床医学は臨床医学系に、教養は総合科学系に名称変更。

附属図書館・附属展示館は大学附属施設、附属病院・附属生体情報伝達研究所・附属放射性同位元素研究施設・附属実験動物研究施設・附属リハビリテーション研究所・附属看護学校は医学部附属施設となる。

細菌学講座を微生物学講座と改称。

病院の歯科は歯科口腔外科に、輸血部は輸血・移植免疫部に改称。

〃 10.8.1 病院に形成外科を新設。

〃 11.4.1 病院に呼吸器科を新設。

医学部附属生体情報伝達研究所に生体機能研究部門を新設。

〃 11.10.30 医学部附属看護学校50周年記念式典挙行。

〃 13.3.31 医学部附属看護学校廃止。

〃 13.12.20 大学院看護学研究科設置認可。

〃 14.4.1 大学院看護学研究科開設（入学定員15人、収容定員30人、修業年限2年）。

病院に総合周産期母子医療センターを新設（新生児集中治療部を廃止）。

〃 15.4.1 病院に安全管理部を新設。

F・F型行政組織の導入により事務局を再編。総務課・会計課・施設管理課・医事

- 課を廃止し、総務領域(総務企画グループ・予算経理グループ・施設管理グループ)と病院領域(管理グループ・経営企画グループ・医事グループ)を新設。
- 平成16.4.1 大学院医学研究科を再編整備(5研究課程を4専攻に再編。入学定員を27名から37名に増員)。
- 〃 16.6.26 創立60周年記念祝賀会開催。
- 〃 17.4.1 解剖学第一講座を神経解剖・発生学講座と、解剖学第二講座を解剖・組織学講座と、生化学第一講座を生化学講座と、生化学第二講座を免疫学講座と改称。呼吸器科学講座、形成外科学講座を新設。病院に総合診療・地域医療部、内視鏡診療部、医療情報部を新設。病歴部を廃止。
- 〃 18.4.1 福島県が公立大学法人福島県立医科大学を設立。公立大学法人福島県立医科大学は福島県立医科大学を設置。法人に役員会を設置。法人の審議機関として、経営審議会を法人に、教育研究審議会を大学に設置。担当役員を責任者とする企画室、評価室、知的財産管理活用オフィス、危機管理室を設置。監事を補助する監査室を設置。看護学部の領域を廃止し、7部門に再編(総合科学部門、生命科学部門、基礎看護学部門、生態看護学部門、家族看護学部門、ケアシステム開発部門、応用看護学部門)。事務局の総務領域、病院領域を廃止し、総務グループ、財務管理グループ、企画グループを新設。事務局の附属施設として、大学健康管理センターを新設。学生部、学生課を廃止し、学務部、学務グループを新設。医学部附属病院が大学附属病院となる。病院に患者サービス・病院機能改善担当(看護部長兼務)の副病院長職を新設。病院に治験センター、事務部を新設。事務部に病院経営グループ、医事グループを新設。附属図書館、附属展示館を再編し、附属学術情報センターとなる。附属学術情報センターに、学術情報グループを新設。
- 〃 18.5.1 病院の総合診療・地域医療部を地域・家庭医療部と改称。
- 〃 18.10.1 大学院医学研究科に地域医療・加齢医科学専攻長、機能制御医科学専攻長、神経医科学専攻長、分子病態医科学専攻長を設置。病院の神経精神科を心身医療科と、麻酔科を麻酔・疼痛緩和科と改称。
- 〃 19.2.1 病院に中央部門機能強化担当の副病院長職を新設。
- 〃 19.4.1 生理学第一講座を細胞統合生理学講座と、生理学第二講座を神経生理学講座と、衛生学を衛生学・予防医学講座と、呼吸器科学講座を呼吸器内科学講座と改称。病院にリハビリテーションセンター、救命救急センター、臨床腫瘍センター、医療支援部を新設。安全管理部を医療安全管理部と、呼吸器科を呼吸器内科と改称。
- 〃 20.1.1 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座と改称。
- 〃 20.1.28 附属病院4階東病棟に整備した救命救急センター運用開始。ドクターヘリ運航開始。

- 平成20.4.1 一部事務職を除き職員全員が法人職員となり、完全法人化する。  
 法人組織にトランスレーショナルリサーチ（TR）センターを新設。  
 医学部学生入学定員増（80名を95名に増員）。  
 大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）開設（入学定員10人、修学年限2年）。  
 医学部に副医学部長職を新設。  
 医学部人文社会科学講座と外国語講座を人間科学講座に再編。数学講座、化学講座、生物学講座、物理学講座を自然科学講座に再編。  
 総合科学教育研究センターを新設し、人文社会科学系領域と自然科学系領域を設置。  
 事務局総務グループ、財務管理グループ、企画グループ及び学務部学務グループを再編し、事務局総務課、企画財務課、学生課を設置。学術情報グループは学術情報室として学生課の課内室となる。  
 学務部を学生部と改称、副学務部長職を廃止し、医学学生部長と看護学学生部長職を新設。  
 医療人育成・支援センターを新設し、医学教育部門と臨床医学教育研修部門を設置。  
 附属病院に性差医療センター、診療支援部、感染制御部を新設。  
 附属病院診療科の第一内科を循環器内科、血液内科に、第二内科を消化器内科、リウマチ・膠原病内科に、第三内科を腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科に、第一外科及び第二外科を呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・内分泌・甲状腺外科、小児外科、低侵襲・最先端外科に、産科婦人科を産科及び婦人科にそれぞれ再編。  
 附属病院診療科の泌尿器科を泌尿器科・副腎内分泌外科と、耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉科・頭頸部外科と改称。  
 中央部門を中央診療施設と、医療支援部を臨床工学センターと改称。  
 病院事務部病院経営グループ、医事グループを再編し病院経営課、医事課を設置。  
 病院経営課の課内室として医療連携・相談室を新設。
- 〃 20.6.22 光が丘キャンパス移転20周年、看護学部設置10周年、完全法人化記念事業「アニバーサリー2008」記念式典挙行。
- 〃 20.11.2 本学イメージマーク制定。  
 「福島県立医科大学ビジョン2008」制定。  
 学生歌「ラララ光の丘」制定。
- 〃 21.4.1 医学部学生定員増（95名を100名に増員）。  
 大学院医学研究科を再編（4専攻を医学専攻に再編）。  
 大学院医学研究科に医学専攻長を設置。  
 医学部の内科学講座、外科学講座に内科学部門長、外科学部門長を新設。  
 内科学第一講座は循環器・血液内科学講座に、内科学第二講座は消化器・リウマチ膠原病内科学講座に、内科学第三講座は腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座に、外科学第一講座は臓器再生外科学講座に、外科学第二講座は器官制御外科学講

座に改称。

病理学第一講座は病理病態診断学講座に、病理学第二講座は基礎病理学講座に改称。

附属病院に地域連携部を新設。

附属病院診療科に病理診断科を新設。低侵襲最先端外科を低侵襲・先端治療科に改称。

病院経営課の課内室である医療連携・相談室を、医事課の課内室に改編。

平成21.11.11 医学部学生定員の変更届出（1学年定員105名）。

〃 21.12.3 医学部学生定員増承認（100名を105名に増員）。

〃 22.4.1 医学部学生定員増（100名を105名に増員）。

理事を4名から5名に増員。

会津医療センター準備室を新設。

医学部に救急医療学講座、輸血・移植免疫学講座、地域・家庭医療学講座を新設。

看護学部に副看護学部長職を新設。

事務局企画財務課の課内室として、ふくしま医療-産業リエゾン推進室を新設。

附属病院事務部長が事務局次長（業務担当）を兼務、附属病院事務部全体が事務局兼務。

※創立は昭和19年が起点、開学は昭和22年が起点。

### 3 歴代理事長、部局長等

(22.6.1現在)

#### ○ 理事長

平成18.4.1～20.3.31 高 地 英 夫  
〃 20.4.1～ 菊 地 臣 一

#### ○ 副理事長

平成18.4.1～20.3.31 菊 地 臣 一  
〃 20.4.1～22.3.31 丹 羽 真 一  
〃 22.4.1～ 竹 之 下 誠 一

#### ○ 学 長 (昭和22.6.17までは学校長)

昭和19.4.1～20.12.14 (事務取扱) 八 木 精 一  
〃 20.12.15～22.2.8 八 木 精 一  
〃 22.2.9～25.3.31 池 田 龍 一  
〃 25.4.1～36.4.30 大 里 俊 吾 (初代)  
〃 36.5.1～42.4.30 武 藤 完 雄 (第2代、第3代)  
〃 42.5.1～43.4.30 勝 又 正 (第4代)  
〃 43.5.1～44.6.12 (心得) 藤 原 留 造  
〃 44.6.13～44.7.31 (〃) 辻 義 人  
〃 44.8.1～45.11.1 (〃) 楠 信 男  
〃 45.11.2～51.11.1 楠 信 男 (第5代、第6代)  
〃 51.11.2～55.11.1 辻 義 人 (第7代)  
〃 55.11.2～61.11.1 松 川 明 (第8代、第9代)  
〃 61.11.2～平成4.11.1 伊 藤 司 (第10代、第11代)  
平成4.11.2～8.11.1 若 狭 治 毅 (第12代)  
〃 8.11.2～12.11.1 元 木 良 一 (第13代)  
〃 12.11.2～16.11.1 茂 田 士 郎 (第14代)  
〃 16.11.2～20.3.31 高 地 英 夫 (第15代)  
〃 20.4.1～ 菊 地 臣 一 (第16代)

#### ○ 副学長

平成16.5.1～16.11.30 丸 山 幸 夫  
〃 16.12.1～18.3.31 鈴 木 仁  
〃 18.4.1～22.3.31 藤 田 禎 三  
〃 22.4.1～ 阿 部 正 文

#### ○ 医学部長

平成10.4.1～12.3.31 茂 田 士 郎  
〃 12.4.1～16.3.31 高 地 英 夫



平成16.4.1～18.3.31	菊 地 臣 一
〃 18.4.1～22.3.31	阿 部 正 文
〃 22.4.1～	大 戸 齊

○ 看護学部長

平成10.4.1～22.3.31	中 山 洋 子
〃 22.4.1～	鈴 木 順 造

○ 学生部長

(昭和37.9.30までは学生課長、平成18.4.1から平成20.3.31までは学務部長)

昭和26.4.1～29.3.31	福 山 右 門
〃 29.4.1～32.3.31	山 本 寛 一
〃 32.4.1～34.3.31	鈴 木 武 彦
〃 34.4.1～36.7.31	横 山 正 松
〃 36.8.1～38.11.30	辻 義 人
〃 38.12.1～40.9.30	中 村 逸 雄
〃 40.10.1～42.10.10	藤 原 留 造
〃 42.10.11～45.6.30	鶴 見 膠 一
〃 45.7.1～47.6.30	黒 田 直
〃 47.7.1～49.8.31	塚 原 進
〃 49.9.1～49.10.31 (事務取扱)	楠 信 男
〃 49.11.1～51.10.31	星 島 啓 一 郎
〃 51.11.1～53.10.31	小 島 瑞
〃 53.11.1～56.4.30	大 崎 丈 夫
〃 56.5.1～58.4.30	中 村 久 也
〃 58.5.1～61.11.1	伊 藤 司
〃 61.11.2～平成元.4.30	茂 田 士 郎
平成元.5.1～4.11.12	若 狭 治 毅
〃 4.11.13～7.4.30	福 島 匡 昭
〃 7.5.1～9.4.30	高 地 英 夫
〃 9.5.1～11.4.30	清 水 強
〃 11.5.1～13.4.30	菅 井 尚 則
〃 13.5.1～15.4.30	平 岩 幸 一
〃 15.5.1～17.4.30	藤 田 禎 三
〃 17.5.1～18.3.31	阿 部 正 文
〃 18.4.1～22.3.31	藤 田 禎 三
〃 22.4.1～	阿 部 正 文

○ 附属病院長 (平成10.4.1から平成18.3.31までは医学部附属病院長)

昭和19.4.1～26.5.27	池 田 龍 一
------------------	---------

昭和26.5.28~27.6.19	丸 井 琢 次 郎
〃 27.6.20~29.7.28	若 林 俊 一
〃 29.7.29~31.5.14	九 嶋 勝 司
〃 31.5.15~34.4.30	楠 信 男
〃 34.5.1~36.4.30	梶 浦 睦 男
〃 36.5.1~38.4.30	粟 野 亥 佐 武
〃 38.5.1~40.4.30	貴 家 寛 而
〃 40.5.1~42.4.30	大 原 徳 明
〃 42.5.1~44.4.30	松 川 明
〃 44.5.1~44.7.31	楠 信 男
〃 44.8.1~46.4.30	遠 藤 辰 一 郎
〃 46.5.1~48.4.30	飯 島 進
〃 48.5.1~50.4.30	大 内 仁
〃 50.5.1~52.4.30	本 多 憲 児
〃 52.5.1~54.3.31	吉 田 赳 夫
〃 54.4.1~56.4.30	奥 秋 晟
〃 56.5.1~59.4.30	大 内 仁
〃 59.5.1~63.4.30	白 岩 康 夫
〃 63.5.1~平成2.4.30	熊 代 永 夫
平成2.5.1~4.4.30	白 岩 康 夫
〃 4.5.1~8.4.30	阿 部 力 哉
〃 8.5.1~10.4.30	加 藤 桂 一 郎
〃 10.5.1~12.4.30	大 谷 巖
〃 12.5.1~14.4.30	鈴 木 仁
〃 14.5.1~16.4.30	丸 山 幸 夫
〃 16.5.1~18.3.31	丹 羽 真 一
〃 18.4.1~20.3.31	菊 地 臣 一
〃 20.4.1~22.3.31	竹 之 下 誠 一
〃 22.4.1~	村 川 雅 洋

○ 総合科学教育研究センター長

平成20.4.1~22.3.31	藤 田 禎 三
〃 22.4.1~	安 村 誠 司

○ 医療人育成・支援センター長

平成20.4.1~22.3.31	藤 田 禎 三
〃 22.4.1~	福 島 哲 仁

○ 附属学術情報センター長 (平成18.3.31までは附属図書館長)

昭和25.4.1~26.9.5	宮 路 重 嗣
-----------------	---------

昭和26.10.19～30.4.30	宍戸仙太郎
〃 30.5.1～32.4.30	横山正松
〃 32.5.1～35.11.30	北村四郎
〃 35.12.1～38.4.30	藤原留造
〃 38.5.1～40.4.30	小島瑞
〃 40.5.1～43.10.24	星島啓一郎
〃 43.10.25～46.3.31	辻義人
〃 46.4.1～48.3.31	鶴見膠一
〃 48.4.1～50.3.31	大崎丈夫
〃 50.4.1～52.3.31	鈴木武彦
〃 52.4.1～54.3.31	中村久也
〃 54.4.1～56.3.31	黒田直
〃 56.4.1～58.3.31	伊藤司
〃 58.4.1～60.3.31	長井靖
〃 60.4.1～平成元.3.31	若狭治毅
平成元.4.1～3.3.31	茂田士郎
〃 3.4.1～5.3.31	高地英夫
〃 5.4.1～7.3.31	中西弘則
〃 7.4.1～9.3.31	菅井尚則
〃 9.4.1～11.3.31	福島匡昭
〃 11.4.1～13.3.31	香山雪彦
〃 13.4.1～15.3.31	清水強
〃 15.4.1～17.3.31	鈴木利光
〃 17.4.1～20.3.31	平岩幸一
〃 20.4.1～22.3.31	八木沼洋行
〃 22.4.1～	上田和毅

○ 附属展示館長（平成18.4.1 附属学術情報センターに統合）

昭和63.4.1～平成6.3.31	菅井尚則
平成6.4.1～8.11.5	杉浦康夫
〃 8.11.6～12.3.31	平岩幸一
〃 12.4.1～18.3.31	八木沼洋行

○ 医学部附属生体情報伝達研究所長

（昭和62.3.31までは附属中央研究所長、平成6.3.31までは附属研究所長、平成10.3.31までは生体情報伝達研究所長）

昭和29.5.1～36.4.30	大里俊吾
〃 36.5.1～42.4.30	武藤完雄
〃 42.5.1～43.4.30	勝又正
〃 45.10.14～51.11.1	楠信男

昭和51.11.2～55.11.1	辻	義	人
〃 55.11.2～61.11.1	松	川	明
〃 61.11.2～平成4.11.1	伊	藤	司
平成4.11.2～8.11.1	若	狭	治
〃 8.11.2～10.3.31	元	木	良
〃 10.4.1～12.3.31	茂	田	士
〃 12.4.1～14.3.31	高	地	英
〃 14.4.1～18.3.31	小	林	和
〃 18.4.1～	本	間	好

○ 医学部附属放射性同位元素研究施設長

(平成10.3.31までは放射性同位元素研究施設長)

平成6.4.1～13.3.31	藤	田	禎	三
〃 13.4.1～	本	間		好

○ 医学部附属実験動物研究施設長 (平成10.3.31までは実験動物研究施設長)

平成6.4.1～9.9.2	清	水	強
〃 9.9.3～12.3.31	丸	山	幸
〃 12.4.1～16.3.31	鈴	木	利
〃 16.4.1～22.3.31	小	林	和
〃 22.4.1～	片	平	清

○ 医学部附属リハビリテーション研究所長

(平成10.3.31までは附属リハビリテーション研究所長)

昭和44.9.1～53.4.30	吉	田	赳	夫
〃 53.5.19～62.3.31	塚	原		進
〃 62.4.1～平成3.3.31	粕	川	禮	司
平成3.4.1～5.3.31	児	玉	南	海
〃 5.4.1～7.3.31	菊	地	臣	一
〃 7.4.1～9.3.31	山	本	悌	司
〃 9.4.1～11.3.31	茂	田	士	郎
〃 11.4.1～13.3.31	丹	羽	真	一
〃 13.4.1～15.3.31	丸	山	幸	夫
〃 15.4.1～17.3.31	山	口		脩
〃 17.4.1～19.3.31	児	玉	南	海

○ 医学部附属看護学校長 (平成10.3.31までは附属看護学校長、平成13.3.31閉校)

昭和25.4.1～27.9.14	丸	井	琢	次
〃 27.9.15～30.4.30	若	林	俊	一
〃 30.5.1～31.5.14	九	嶋	勝	司
〃 31.5.15～34.4.30	楠		信	男

昭和34.5.1~36.4.30	梶	浦	睦	雄
〃 36.5.1~38.4.30	栗	野	亥	佐武
〃 38.5.1~40.4.30	貴	家	寛	而
〃 40.5.1~42.4.30	大	原	徳	明
〃 42.5.1~42.11.10	松	川		明
〃 42.11.11~44.5.10	大	原	徳	明
〃 44.5.11~46.3.31	栗	野	亥	佐武
〃 46.4.1~48.3.31	松	川		明
〃 48.4.1~49.9.9	遠	藤	辰	一郎
〃 49.9.10~51.9.9	飯	島		進
〃 51.9.10~53.9.9	大	内		仁
〃 53.9.10~55.9.9	本	多	憲	児
〃 55.9.10~56.3.31	塚	原		進
〃 56.4.1~57.3.31	黒	田		直
〃 57.4.1~59.3.31	奥	秋		晟
〃 59.4.1~60.3.31	大	崎	丈	夫
〃 60.4.1~61.3.31	中	村	久	也
〃 61.4.1~63.3.31	熊	代		永
〃 63.4.1~平成2.3.31	白	岩	康	夫
平成2.4.1~4.3.31	木	村	和	衛
〃 4.4.1~6.3.31	福	地	総	逸
〃 6.4.1~8.3.31	元	木	良	一
〃 8.4.1~10.3.31	大	谷		巖
〃 10.4.1~13.3.31	佐	藤		章

○ 事務局長

昭和25.4.1~25.6.17 (事務取扱)	渡	部		浩 (総務部庶務課長)
〃 25.6.17~26.9.1 (〃)	八	島	喜右工門	(〃)
〃 26.9.1~28.6.30 (心得)	柳	沼	重	三
〃 28.7.1~28.8.2	柳	沼	重	三
〃 28.8.3~28.9.2 (兼務)	穴	沢		栄 (総務部地方課長)
〃 28.9.3~30.8.31 (事務取扱)	八	島	喜右工門	(総務部長)
〃 30.9.1~33.3.1	坪	井	寅	寿
〃 33.4.1~39.7.14	佐	藤	七右工門	
〃 39.7.15~44.3.31	新	城	文	武
〃 44.4.1~46.7.14	岡	田	宗	治
〃 46.7.15~47.5.31	富	田	善	一郎
〃 47.6.1~49.3.31	吉	成	敬	三

昭和49.4.1～50.12.31	黒 沢 三 郎
〃 51.1.1～51.5.31	横 田 謙 一 郎
〃 51.6.1～54.3.31	小 野 茂
〃 54.4.1～55.3.31	佐 藤 静 雄
〃 55.4.1～56.3.31	高 木 博
〃 56.4.1～58.7.15	奥 山 健 一
〃 58.7.16～61.3.31	菅 井 旭
〃 61.4.1～63.3.31	古 川 丈 孫
〃 63.4.1～平成元.3.31	小 宅 厚
平成元.4.1～3.4.21	高 橋 貞 夫
〃 3.4.22～5.3.31	岡 田 雅 光
〃 5.4.1～7.3.31	佐 藤 家 治
〃 7.4.1～9.3.31	宍 戸 正 照
〃 9.4.1～11.3.31	井 上 俊 郎
〃 11.4.1～13.3.31	大 谷 正 洋
〃 13.4.1～15.3.31	鈴 木 孝 雄
〃 15.4.1～16.3.31	鈴 木 泰 雄
〃 16.4.1～19.3.31	遠 藤 俊 博
〃 19.4.1～22.3.31	野 崎 洋 一
〃 22.4.1～	藤 島 初 男

## 4 施設の概要

### (1) 名称及び所在地

福島県立医科大学医学部	福島市光が丘1番地
福島県立医科大学看護学部	〃
福島県立医科大学附属病院	〃
福島県立医科大学医学部附属研究所・研究施設	〃
福島県立医科大学附属学術情報センター	〃
福島県立医科大学医療研修センター	〃

### (2) 校 地

学部、校舎	45,366㎡
講堂	1,486〃
体育館・武道館・プール、洋弓場、和弓場	12,700〃
グラウンド	19,633〃
野球場・テニスコート	13,864〃
学生寮	1,551〃
艇庫	495〃
附属病院	75,455〃
附属研究所・研究施設	4,839〃
医療研修センター	3,047〃
駐車場・汚水処理場・その他	196,438〃
合 計	374,874〃

### (3) 校舎等建物

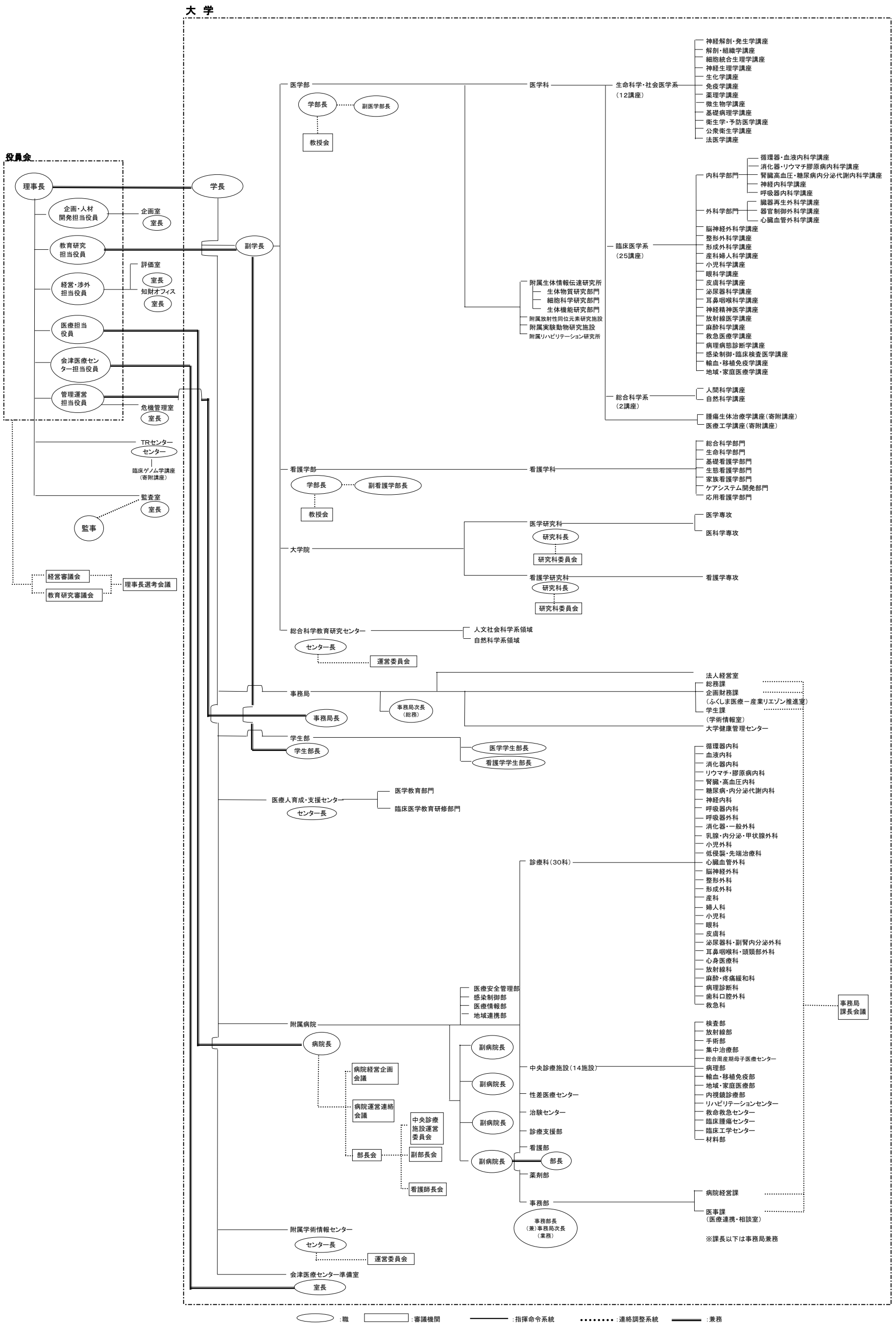
臨床医学系研究棟	鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階建	8,614㎡
生命科学・社会 医学系研究棟	〃 ・ 5階建	6,563〃
総合科学系研究棟	〃 ・ 地上5階地下1階建	7,197〃
実 習 棟	〃 ・ 2階建	1,261〃
講 義 棟	鉄筋コンクリート造・2階建	1,306〃
福 利 厚 生 棟	〃 ・ 〃	1,373〃
看 護 学 部 棟	鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上6階地下1階建	13,205〃
管 理 棟	鉄筋コンクリート造・3階建	2,556〃
講 堂	〃 ・ 2階建	1,750〃
附属学術情報 セ ン タ ー	〃 ・ 〃	4,101〃
附属研究所・ 研 究 施 設	〃 ・ 5階建	6,277〃

医療研修センター	鉄筋コンクリート造	・ 4 階建	2,639㎡
同窓会館	〃	・ 2 階建	727〃
体育館・武道館	〃	(一部鉄骨造)・ 3 階建	4,554〃
和弓場	鉄骨造	・ 平屋建	113〃
附属病院	鉄骨、鉄筋コンクリート造	・ 地上10階地下1階建	56,635〃
臨床講義棟	鉄筋コンクリート造	・ 2 階建	1,107〃
北外来棟 (カンファランス棟)	〃	・ 3 階建	1,834〃
神経精神科病棟	〃	・ 2 階建	1,547〃
M R I 棟・ ハイエネルギー棟	〃	・ 平家建	1,580〃
原子力災害第2 次緊急医療施設	〃	・ 〃	351〃
看護師宿舎	〃	・ 5 階建	2,955〃
託児所	〃	・ 平屋建	480〃
汚水処理棟	〃	・ 〃	1,304〃
冷凍機械室棟	〃	・ 2 階建 (一部 3 階建)	374〃
洗濯場	鉄骨造	・ 平屋建	118〃
救命救急機械室	鉄筋コンクリート造	・ 2 階建	171〃
へり格納庫	鉄骨造	・ 平屋建	324〃
リハビリテーションセンター	〃	・ 2 階建	334〃
その他附属施設			1,324〃
	合	計	132,674〃



# 5 組織機構図

(22.4.1現在)



○:職 □:審議機関 —:指揮命令系統 .....:連絡調整系統 ———:兼務

## 6 役 職 員

(22.6.1現在)

□ 法 人		委 員	平子 健
○ 役 員 会		〃	村川 雅洋
理 事 長	菊地 臣一	〃	藤島 初男
副理事長(企画・人材開発担当)	竹之下誠一	外 部 委 員	玄侑 宗久
理 事(教育研究担当)	阿部 正文	〃	根本 良一
〃 (経営・渉外担当)	平子 健	〃	林 由美子
〃 (医療担当)	村川 雅洋	〃	前原 和平
〃 (管理運営担当)	藤島 初男	〃	渡辺 健壽
〃 (会津医療センター担当)	棟方 充		
監 事	佐藤 喜一	○ 教育研究審議会	
〃	高橋 宏和	議 長	菊地 臣一
		委 員	阿部 正文
○ 企 画 室		〃	大戸 斉
室 長 (兼) 竹之下誠一		〃	鈴木 順造
		〃	村川 雅洋
○ 評 価 室		〃	和田 郁夫
室 長 (兼) 平子 健		〃	横田 素美
		〃	上田 和毅
○ 知的財産管理活用オフィス		〃	本間 好
室 長 (兼) 平子 健		〃	竹之下誠一
		〃	藤島 初男
○ 危機管理室		〃	細矢 光亮
室 長 (兼) 藤島 初男		〃	錫谷 達夫
		〃	太田 操
○ トランスレーショナルリサーチセンター		〃	福島 哲仁
センター長 (兼) 和栗 聡		〃	亀田 政則
寄附講座・臨床ゲノム学講座	〃 和栗 聡	外 部 委 員	金澤 一郎
		〃	川原 礼子
○ 監 査 室			
室 長 岡田 達也			
○ 経営審議会			
議 長 菊地 臣一			
委 員 竹之下誠一			

## □ 大 学

学 部 長 (兼) 菊地 臣一  
副 学 部 長 " 阿部 正文

## ○ 医 学 部

学 部 長 教授(兼) 大戸 齐  
副 学 部 長 " " 八木沼洋行  
内 科 学 部 門 長 " " 大平 弘正  
外 科 学 部 門 長 " " 竹之下誠一

### 生命科学・社会医学系 (12講座)

神経解剖・発生学講座 主任 教授 八木沼洋行  
解剖・組織学講座 " " 和栗 聡  
細胞統合生理学講座 " " 挾間 章博  
神経生理学講座 " " 香山 雪彦  
生 化 学 講 座 " " 橋本 康弘  
免 疫 学 講 座 " " 藤田 禎三  
薬 理 学 講 座 " " 木村 純子  
微 生 物 学 講 座 " " 錫谷 達夫  
基礎病理学講座 " " 千葉 英樹  
衛生学・予防医学講座 " " 福島 哲仁  
公衆衛生学講座 " " 安村 誠司  
法 医 学 講 座 " " 平岩 幸一

### 臨床医学系 (25講座)

循環器・血液内科学講座 主任 教授 竹石 恭知  
消化器・リウマチ  
膠原病内科学講座 " " 大平 弘正  
腎臓高血圧・糖尿病  
内分泌代謝内科学講座 " " 渡辺 毅  
神経内科学講座 " " 宇川 義一  
呼吸器内科学講座 " " 棟方 充  
臓器再生外科学講座 " " 後藤 満一  
器官制御外科学講座 " " 竹之下誠一  
心臓血管外科学講座 " " 横山 齐  
脳神経外科学講座 " " 齋藤 清  
整形外科学講座 " " 紺野 慎一  
形成外科学講座 " " 上田 和毅  
産科婦人科学講座 " " 藤森 敬也

小児科学講座 主任 教授 細矢 光亮  
眼 科 学 講 座 " " 飯田 知弘  
皮 膚 科 学 講 座 " " 山本 俊幸  
泌尿器科学講座 " " 山口 脩  
耳鼻咽喉科学講座 " " 大森 孝一  
神経精神医学講座 " " 丹羽 真一  
放射線医学講座 " " 宍戸 文男  
麻 醉 科 学 講 座 主任事務取扱 " (兼) 齋藤 清  
救急医療学講座 " " " 後藤 満一  
病理病態診断学講座 主任 " 阿部 正文  
感染制御・臨床検査医学講座 " " 金光 敬二  
輸血・移植免疫学講座 " " 大戸 齐  
地域家庭医療学講座 " " 葛西 龍樹

### 総合科学系 (2講座)

人間科学講座 主任 教授 藤野美都子  
自然科学講座 " " 小林 恒夫  
寄付講座 (2講座)  
腫瘍生体治療学講座 主任 教授(兼) 竹之下誠一  
医療工学講座 " " " 竹之下誠一

## ○ 医学部附属生体情報伝達研究所

所 長 教授(兼) 本間 好  
生体物質研究部門 研究主任 教授 本間 好  
細胞科学研究部門 " " 和田 郁夫  
生体機能研究部門 " " 小林 和人

## ○ 医学部附属放射性同位元素研究施設

施 設 長 教授(兼) 本間 好

## ○ 医学部附属実験動物研究施設

施 設 長 准教授 片平 清昭

## ○ 看護学部

学 部 長 教授(兼) 鈴木 順造  
副 学 部 長 " " 眞壁 玲子

総合科学部門長 教授 亀田 政則  
 生命科学部門長 ” 本多たかし  
 基礎看護学部門長 ” 横田 素美  
 生態看護学部門長 ” (兼) 真壁 玲子  
 家族看護学部門長 ” 太田 操  
 ケアシステム開発部門長 ” 黒田真理子  
 応用看護学部門長 ” 真壁 玲子

○ 大 学 院

医学研究科長 教授(兼) 和田 郁夫  
 医学専攻長 教授(兼) 後藤 満一  
 医科学専攻長 ” ” 小林 和人  
 地域医療・加齢医科学専攻長 ” ” 安村 誠司  
 機能制御医科学専攻長 ” ” 後藤 満一  
 神経医科学専攻長 ” ” 小林 和人  
 分子病態医科学専攻長 ” ” 挾間 章博

※

※平成21年4月1日より、医学専攻として統合。  
 平成21年3月31日に当該専攻に在学する者が  
 当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続  
 するものとする。

看護学研究科科長 教授(兼) 横田 素美

○ 総合科学教育研究センター

センター長 教授(兼) 安村 誠司  
 人文社会科学系領域長 教授(兼) 亀田 政則  
 自然科学系領域長 ” ” 岡田 達也

○ 事 務 局

事務局長 (兼) 藤島 初男  
 事務局次長 清水 勝夫  
 法人経営室長 (兼) 清水 勝夫  
 総務課長 佐藤 正尚  
 企画財務課長 井出 孝利  
 ぶくしま医療・産業イノベーション推進室長 (兼) 井出 孝利  
 学生課長 中高 克郎  
 学術情報室長 (兼) 中高 克郎

大学健康管理センター所長 教授(兼) 安村 誠司

○ 学 生 部

学生部長 教授(兼) 阿部 正文  
 医学学生部長 ” ” 錫谷 達夫  
 看護学学生部長 ” ” 太田 操

○ 医療人育成・支援センター

センター長 教授(兼) 福島 哲仁  
 医学教育部門長 教授(兼) 錫谷 達夫  
 臨床医学教育研修部門長 ” ” 大平 弘正

○ 附 属 病 院

病院長 (兼) 村川 雅洋  
 副病院長 教授 ” 横山 斉  
 ” ” 細矢 光亮  
 ” ” 大森 孝一  
 ” ” 北原 和子  
 医療安全管理部長 准教授 橋本 重厚  
 感染制御部長 教授(兼) 金光 敬二  
 医療情報部長 ” ” 竹石 恭知  
 地域連携部長 准教授 青田 恵郎  
 循環器内科部長 教授(兼) 竹石 恭知  
 血液内科部長 准教授 ” 小川 一英  
 消化器内科部長 ” ” 大平 弘正  
 リウマチ・膠原病内科部長 講師 ” 渡辺 浩志  
 腎臓・高血圧内科部長 教授 ” 渡辺 毅  
 糖尿病・内分泌代謝内科部長 ” ” 渡辺 毅  
 神経内科部長 ” ” 宇川 義一  
 呼吸器内科部長 ” ” 棟方 充  
 呼吸器外科部長 講師 ” 鈴木 弘行  
 小児外科部長 教授 ” 後藤 満一  
 消化器・一般外科部長 ” ” 後藤 満一  
 乳腺・内分泌・甲状腺外科部長 ” ” 鈴木 眞一  
 低侵襲・先端治療科部長 ” ” 竹之下誠一  
 心臓血管外科部長 ” ” 横山 斉

脳神経外科部長	教授(兼)	齋藤 清
整形外科部長	〃	〃 紺野 慎一
形成外科部長	〃	〃 上田 和毅
産科部長	〃	〃 藤森 敬也
婦人科部長	准教授	〃 山田 秀和
小児科部長	教授	〃 細矢 光亮
眼科部長	〃	〃 飯田 知弘
皮膚科部長	〃	〃 山本 俊幸
泌尿器科・副腎内分泌外科部長	〃	〃 山口 脩
耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長	〃	〃 大森 孝一
心身医療科部長	〃	〃 丹羽 真一
放射線科部長	〃	〃 宍戸 文男
麻酔・疼痛緩和科部長	講師	〃 五十州 剛
病理診断科部長	教授	〃 阿部 正文
歯科口腔外科部長	准教授	〃 長谷川 博
救急科部長	〃 (兼)	〃 田勢長一郎
検査部長	教授	〃 金光 敬二
放射線部長	〃	〃 宍戸 文男
手術部長	〃	〃 齋藤 清
集中治療部長	講師	〃 五十州 剛
総合周産期母子医療センター部長	教授	〃 細矢 光亮
病理部長	〃	〃 阿部 正文
輸血・移植免疫部長	〃	〃 大戸 斉
地域・家庭医療部長	〃	〃 葛西 龍樹
内視鏡診療部長	准教授	〃 小原 勝敏
リハビリテーションセンター部長	〃	〃 矢吹 省司
救命救急センター部長	〃 (兼)	〃 田勢長一郎
臨床腫瘍センター長	〃	〃 石田 卓
臨床工学センター部長	教授(兼)	〃 横山 斉
材料部長	〃	〃 紺野 慎一
性差医療センター部長	准教授	〃 小宮ひろみ
治験センター所長	教授(兼)	〃 渡辺 毅
診療支援部長	〃	〃 大森 孝一
看護部長	副病院長	〃 北原 和子
薬剤部長	講師	〃 白坂 正良
事務部長		〃 堀切 豊
病院経営課長		〃 五十嵐宏治

医事課長	武田 和也
医療連携・相談室長	仁志 宏

## ○ 附属学術情報センター

センター長	教授(兼) 上田 和毅
-------	-------------

# 7 名 誉 教 授

(22.6.1 現在)

名誉教授	池	田	龍	一 ※	名誉教授	木	村	和	衛
〃	大	里	俊	吾 ※	〃	福	地	総	逸
〃	若	林	俊	一 ※	〃	白	岩	康	夫
〃	武	藤	完	雄 ※	〃	竹	川	佳 壽	子
〃	山	本	寛	一 ※	〃	若	狭	治	毅
〃	丸	井	琢 次 郎	※	〃	奥	秋		晟 ※
〃	栗	野	亥 佐 武	※	〃	稻	村		裕 ※
〃	藤	原	留	造 ※	〃	阿	部	力	哉
〃	楠		信	男 ※	〃	中	西	弘	則
〃	横	山	正	松 ※	〃	高	久	祐	治
〃	梶	浦	睦	雄 ※	〃	福	島	匡	昭
〃	大	原	徳	明 ※	〃	粕	川	禮	司
〃	鶴	見	膠	一 ※	〃	星	野	俊	一
〃	辻		義	人 ※	〃	元	木	良	一
〃	鈴	木	武	彦	〃	引	地	岳	雄
〃	黒	田		直 ※	〃	田	中	正	敏
〃	遠	藤	辰 一 郎	※	〃	加	藤	桂 一 郎	強
〃	大	内		仁 ※	〃	清	水		巖
〃	大	崎	丈	夫 ※	〃	大	谷		巖
〃	松	川		明 ※	〃	茂	田	士	郎
〃	塚	原		進	〃	菅	井	尚	則
〃	飯	島		進 ※	〃	山	本	悌	司
〃	中	村	久	也 ※	〃	鈴	木		仁
〃	長	井		靖	〃	金	子	史	男
〃	南	條	善	治	〃	吉	田		浩
〃	森			一	〃	大	波	哲	雄
〃	刈	米	重	夫	〃	丸	山	幸	夫
〃	小	島		瑞 ※	〃	児	玉	南 海	雄
〃	松	本		淳 ※	〃	高	地	英	夫
〃	熊	代		永	〃	鈴	木	利	光
〃	芳	賀		馨 ※	〃	佐	藤		章
〃	伊	藤		司	〃	落	合	威	彦
〃	星	島	啓 一 郎	※					

(発令順 ※は故人)

# 8 運 営 概 況

(1) 所属別職員数

(22.6.1現在)

所 属	職	学 長	副 学 長	教 員						事務・技術系職員					合 計	
				教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	事 務 員	技 術 員	技 能 員	労 務 員	小 計		
学	長	1							1							1
副	学 長		1						1							1
医 学 部				45	38	50	151	63	347		42	7	1	50	397	
生命科学・社会医学系				12	10	9	18	6	55		14	5		19	74	
臨床医学系				23	19	35	78	22	177		22	2		24	201	
地域医療支援センター							46	34	80						80	
総合科学系				6	4	4	1		15						15	
寄附講座				1	2				3						3	
附属生体情報伝達研究所				3	2	1	8	1	15		4			4	19	
附属放射性同位元素研究施設						1			1		1			1	2	
附属実験動物研究施設					1				1		1		1	2	3	
看 護 学 部				13	7	11	10	4	45						45	
事 務 局 課				1					1	63	10	2		75	76	
総務課										24	8	2		34	34	
企画財務課(ふくしま医療-産業リノベーション推進室)										19				19	19	
学生課(学術情報室)										20	2			22	22	
大学健康管理センター				1					1						1	
医療人育成・支援センター					2		4	7	13						13	
附 属 病 院					9	3	11	3	26	50	843	23		916	942	
医療安全管理部				1					1		2			2	3	
感染症制御部											2			2	2	
医療情報部					1				1		2			2	3	
地域連携部				1					3		1			1	4	
診療科							2				38			38	38	
検査科											34			34	34	
放射線部					1				1		1	1		2	3	
手術部																
集中治療部							3	2	5						5	
総合周産期母子医療センター				1			6	1	8						8	
病理部											9			9	9	
輸血・移植免疫部											9			9	9	
内視鏡診療部				1	1				2						2	
リハビリテーションセンター				1					1		15			15	16	
救命救急センター										1				1	1	
臨床腫瘍センター				1	1				2						2	
臨床工学センター											6			6	6	
性差医療センター				1					1						1	
看護部										1	686			687	687	
薬剤部							1		1	1	29	1		31	32	
事務部										47	9	21		77	77	
病院経営課										20				20	20	
医事課(医療連携・相談室)										27	9	21		57	57	
附属学術情報センター							1		1						1	
会津医療センター準備室				3				1	4						4	
大 学 院			(1)	(51)	(49)	(51)			(152)						(152)	
合 計		1	1	62	56	64	177	78	439	113	895	32	1	1,041	1,480	

\* 理事で職員を兼務する者(学長、副学長、臨床医学系教授2名、事務局長(総務課に計上))計5名を含む。  
大学院については内数のため、( )書きとしている。

(2) 医学部・看護学部の主な研究題目

ア 医学部

生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系	神経解剖・発生学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神経分化と神経細胞死</li> <li>・神経伝導路の形成メカニズム</li> <li>・発生過程の神経系への遺伝子導入法の開発</li> <li>・知覚神経の受容体</li> <li>・視床下部-下垂体系の神経内分泌</li> </ul>
	解剖・組織学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リソソーム酵素の効率的選別輸送を支持する分子形態学的基盤</li> <li>・オートファジー（自己食）の分子形態学的基盤と病態との関わり</li> <li>・線維芽細胞増殖因子（FGF）群による糖代謝制御機構</li> <li>・がん特異的遺伝子の機能局在解析</li> </ul>
	細胞統合生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンチャネル・トランスポータの分子細胞生理学</li> <li>・細胞防御機構に関わるイオンチャネルの研究</li> <li>・上皮・内皮膜輸送の研究</li> <li>・循環生理学</li> <li>・宇宙（重力）医学・生理学</li> <li>・高脂血症モデル家兔をもちいた病態生理学</li> </ul>
	神経生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠・覚醒調節の神経機構の電気生理学的、行動薬理学的研究</li> <li>・排尿や性機能調節の神経機構の神経生理学的研究</li> <li>・高次脳機能（特に前頭前皮質の機能）とその病態神経生理学に関する研究</li> <li>・動物モデルを用いた精神疾患の病態解明の研究</li> </ul>
	生化学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー病をはじめとする、中枢神経系疾患マーカーの研究</li> <li>・免疫細胞の発現する膜型レクチンの研究</li> </ul>
	免疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補体レクチン経路の作用機構の解明</li> <li>・遺伝子改変マウスによる補体レクチン経路の生体での役割解明</li> <li>・自然免疫の分子進化に関する研究</li> <li>・自己免疫疾患の病因解明</li> </ul>
	薬理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\text{Na}^+-\text{Ca}^{2+}</math> 交換輸送体の発現と機能</li> <li>・高脂血症治療薬スタチンによる骨格筋障害の機序の解明</li> <li>・前白血病状態成立機序に関する研究</li> <li>・白血球細胞の薬物感受性</li> <li>・薬物相互作用について</li> </ul>
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルペスウイルス、アデノウイルスの分子レベルでの発症病理の解明</li> <li>・ゲノムを用いた微生物同定法の開発</li> <li>・抗菌・抗ウイルス活性を持つ物質の検索、食品の探索</li> </ul>
	病理学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパ球の分化・成熟、機能に関する研究</li> <li>・反応性リンパ節疾患の病理</li> <li>・悪性リンパ腫の生物学的特性に関する分子生物学的研究</li> <li>・小児腫瘍の病理学的・遺伝子学的研究</li> </ul>
	基礎病理学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞接着・極性形成の分子機構とヒト疾患</li> <li>・核内受容体の機能解析</li> <li>・難治がんに対する新規分子標的療法の開発</li> <li>・がん転移のモデル作製と分子メカニズムの解明</li> <li>・がん転移を予測するマーカーの探索と転移をターゲットとする治療法の開発</li> <li>・がんを非侵襲的に診断する方法の開発</li> <li>・抗がん剤を効率よく腫瘍に到達させることができる drug delivery system (DDS) の開発</li> </ul>
衛生学・予防医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境化学物質の生体への影響とその曝露／影響モニタリングに関する研究</li> <li>・中枢神経の老化を引き起こす環境要因とその予防に関する研究</li> <li>・地域における職業保健支援システムの開発に関する研究</li> <li>・生活習慣病とライフスタイルに関する疫学研究</li> <li>・喫煙に対する行動要因及び社会環境要因の解明</li> <li>・健康行動を支援する環境ネットワークおよび健康教育に関する研究</li> <li>・地域・職域に対する予防医学的アプローチに関する研究</li> <li>・高齢者の健康寿命の要因に関する研究</li> <li>・認知症高齢者のクオリティ・オブ・ライフに関する研究</li> <li>・模擬患者のリアリティと医学教育への市民参加の意義に関する研究</li> </ul>	
公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の（臨床）疫学と予防</li> <li>・老年学（転倒・骨折・閉じこもりの（臨床）疫学）</li> <li>・母子保健（妊娠・出産・育児に関する疫学）</li> <li>・感染症の疫学と対策</li> <li>・精神保健（心の健康づくり）・健康心理（行動変容）</li> <li>・政策科学（介護保険・医療保険制度の見直し）</li> <li>・国際保健（ベトナムにおける母子・成人保健・疫学研修）</li> </ul>	



生命科学・社会医学系	法医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺要因の解析と予防対策</li> <li>・脳血管障害発生機序の解析</li> <li>・緊縛性ショックモデルにおける病態生理・生化学的解析</li> <li>・緊縛による末梢神経障害の解析</li> <li>・向精神薬の中毒学的研究</li> <li>・溺死の鑑定法</li> <li>・酸化ストレスと病態</li> </ul>
	循環器・血液内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠動脈攣縮のメカニズム解明と治療法の確立</li> <li>・虚血性心不全の病態解明と治療学的研究</li> <li>・急性冠症候群の病態解明とその予防的治療法の確立</li> <li>・動脈硬化の病態解明と治療法の確立</li> <li>・心不全における運動療法の作用機序の解明と運動処方への確立</li> <li>・メタボリックシンドロームと心血管疾患との関連に関する臨床的基礎的研究</li> <li>・致死的不整脈の発生機序と治療法の確立</li> <li>・骨髄不全症候群および急性白血病の病態解明と治療への応用</li> <li>・造血幹細胞移植における免疫学的研究とその応用</li> <li>・虚血性心疾患および不全心筋の再生治療に関する研究</li> <li>・血管再生治療に関する研究</li> </ul>
	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化管癌の内視鏡的治療</li> <li>・胆道疾患の内視鏡治療</li> <li>・超音波内視鏡を用いた食道静脈瘤および胆膵疾患の診断</li> <li>・炎症性腸疾患の診断と治療、炎症性腸疾患モデルの遺伝子治療</li> <li>・自己免疫性肝疾患の病態と治療</li> <li>・肝疾患における自己抗体</li> <li>・ウイルス性肝炎の病態と治療</li> <li>・肝細胞癌の病態と治療</li> <li>・膠原病の病態解明</li> <li>・分子生物学的手法を用いた関節炎の病態の解析</li> </ul>
	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IgA 腎症患者の成因と予後に関する臨床研究</li> <li>・腎障害進展における成長因子・オートコイドの意義</li> <li>・腎障害進展における脂質とその核内受容体の役割</li> <li>・メサンギウム細胞の伸展刺激による遺伝子発現・増殖制御機序</li> <li>・カルボニルストレス (AGEs) の糖尿病腎症および慢性腎不全合併症についての臨床研究</li> <li>・食塩感受性高血圧の成因における分子生物学的研究</li> <li>・高血圧性血管障害、特に血管内皮細胞機能障害における接着因子の役割</li> <li>・インスリン抵抗性における高血圧の成因に関する臨床的および細胞生物学的研究</li> <li>・高血圧治療の脳行動態・認知機能への影響</li> <li>・Pre-Cushing Syndrome (副腎偶発腫瘍)、Polycystic Ovary Syndrome (多発性卵巣嚢腫症候群) の診断・病態・治療、原発性アルドステロン症の臨床的研究</li> <li>・インスリン抵抗性の病態の解明と予後に関する分子生物学的研究および臨床的研究</li> <li>・糖尿病性血管合併症の発症・進展機序の解明に関する臨床的および基礎的研究</li> <li>・糖尿病性血管合併症の遺伝的素因の研究</li> <li>・脂質異常症における動脈硬化進展機序に関する研究</li> </ul>
	神経内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復磁気刺激の作用機序に関する研究</li> <li>・新しい反復磁気刺激法の開発と確立</li> <li>・ヒト運動野内調節機構の解明</li> <li>・近赤外線による脳血流測定の臨床応用</li> <li>・パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患の磁気刺激治療の開発</li> <li>・てんかんの磁気刺激治療</li> <li>・不随意運動の発生機序に関する研究</li> <li>・チャンネル病のチャンネル機能解析と遺伝子解析</li> <li>・家族性てんかんのチャンネル機能の解析</li> <li>・チャンネル病の培養細胞系モデルの確立</li> <li>・脳血管障害治療法の開発</li> <li>・虚血耐性の動物モデルにおける解析</li> <li>・虚血耐性でのアクアポリンの意義</li> <li>・脳深部刺激用コイルの開発</li> </ul>
呼吸器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喘息ならびに COPD の新しい診断治療法の開発</li> <li>・喘息ならびに COPD の遺伝薬理学 (Pharmacogenetics)</li> <li>・間質性肺疾患の発症および病態に関する研究</li> <li>・呼吸を用いた呼吸器疾患診断法の開発</li> <li>・自然免疫と肺疾患に関する研究</li> <li>・肺癌の新しい診断法の開発</li> <li>・肺癌の新しい化学療法の開発</li> <li>・気管支鏡を用いた新しい診断治療法の開発</li> </ul>	

臨 床 医 学 系	臓器再生外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>腫瘍免疫療法に関する基礎的研究とその臨床応用</li> <li>臓器再生誘導に関する研究</li> <li>肝再生および肝虚血再灌流障害の機構解析とその臨床応用</li> <li>臍島移植実験およびその臨床応用</li> <li>肝・臍切除に対する腹腔鏡手術法の開発</li> <li>自己臍島移植に関する研究</li> <li>拒絶反応の制御に関する研究</li> <li>消化器癌における微小転移と幹細胞に関する研究</li> <li>消化器癌に対する化学療法の効果予測法の確立</li> <li>食道癌、胃癌、大腸癌における予後因子の研究</li> <li>食道癌、胃癌、大腸癌における鏡視下根治手術の開発</li> <li>消化器癌の遺伝子解析による分子生物学的研究</li> <li>食道癌・胃癌における縮小手術を目的としたセンチネルリンパ節生検</li> <li>肺癌の分子生物学および予後因子の研究</li> <li>肺移植に関わる基礎的研究</li> <li>肺癌に対する低侵襲手術の開発（胸腔鏡手術、ロボット支援手術）</li> <li>肺癌に対する免疫療法の開発</li> <li>新生児対外式膜型人工肺における出血傾向に対する予防と対策</li> </ul>
	器官制御外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>癌の血行性及びリンパ行性転移機構の解明</li> <li>消化器癌における抗癌剤耐性遺伝子の検索と癌治療への応用</li> <li>癌免疫療法確立のための基礎的研究</li> <li>難治性炎症性腸疾患の新規治療薬の開発</li> <li>胃癌、大腸癌、食道癌、膵内分泌腫瘍、肝臓癌の内視鏡手術法の開発</li> <li>胃癌、大腸癌、食道癌、肝臓癌、胆道癌、膵癌の手術法の研究と集学的治療法の開発</li> <li>家族性大腸腺腫症の遺伝子学的研究および治療法の研究</li> <li>乳癌の乳房温存手術のための乳管腺葉系3次元病理解析による至適切除癌範囲の研究</li> <li>乳癌手術における腋窩郭清省略のためのセンチネルリンパ節生検の開発と臨床応用</li> <li>乳癌検針装置（乳癌チェッカー）の開発と臨床応用</li> <li>外科的触診情報の定量化と臨床応用についての研究</li> <li>甲状腺癌の発癌機構に関する研究</li> <li>甲状腺未分化癌における遺伝子治療の開発</li> <li>内分泌領域（甲状腺・副甲状腺・副腎）の内視鏡手術の開発と臨床応用</li> <li>多発性内分泌腺腫症の分子生物学的解明と治療法の研究</li> <li>内分泌腫瘍における骨・カルシウム代謝の研究</li> </ul>
	脳神経外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳神経外科手術の開発</li> <li>神経内視鏡手術の開発</li> <li>くも膜下出血後の脳血管攣縮の予防法としてウロキナーゼとアスコルビン酸を用いた脳槽灌流療法</li> <li>Helical CTを用いた非侵襲的三次元画像診断法と手術シミュレーション</li> <li>脳、脳神経、脊髄の誘発電位に関する電気生理学的研究とその臨床応用</li> <li>蛍光脳血管撮影の開発と臨床応用</li> <li>脳腫瘍の遺伝子解析</li> </ul>
	整形外科講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>腰部脊髄神経と馬尾の圧迫性神経障害に関する病態解明の研究</li> <li>腰椎椎間板ヘルニアによる神経根障害のメカニズムと治療に関する研究</li> <li>腰背部コンパートメント症候群の病態と治療に関する研究</li> <li>腰部神経根性疼痛に対する薬剤治療効果に関する研究</li> <li>腰部椎間関節炎の新しい概念の病態解明と治療効果についての臨床および基礎的研究</li> <li>慢性神経痛の病態解明、特にリエゾン精神医学との関与についての研究</li> <li>電気生理学的研究</li> </ul>
	心臓血管外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>造血幹細胞を用いた血管新生療法</li> <li>心拍動下手術に関する研究</li> <li>硬さセンサーによる動脈硬化の診断と評価</li> <li>ステントグラフトの改良、臨床応用に関する研究</li> <li>弓部大動脈手術時の脳保護に関する研究</li> <li>急性大動脈解離手術における両側腋窩動脈灌流の臨床的評価</li> </ul>
	形成外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>先天異常に対する生後～初期手術および成人に至るまでのトータルケア</li> <li>微小血管吻合を用いた組織移植</li> <li>各種再建外科</li> <li>顔面神経麻痺の外科的再建</li> <li>創傷治癒機構の解析</li> </ul>
	産科婦人科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性的胎児低酸素血症の動物実験モデルを作成し、胎内環境悪化の際に見られる胎児内分泌学的動態・循環動態の研究</li> <li>早産機構解明のため、子宮筋収縮のメカニズムを一酸化炭素（NO）やATPのレセプターであるP2 receptorの面から研究</li> <li>ヒト射出精子の受精能の評価をヒト精子核蛋白の異種性、卵管上皮との相互作用の面から研究</li> <li>未成熟精子の受精能、受精のメカニズムを顕微授精のテクニックを用いて研究</li> <li>卵巣癌が癌性腹膜炎に至る機序をマウス癌性腹膜炎モデルにより分子生物学的、病理学的に研究</li> <li>婦人科悪性腫瘍内に出現する腫瘍関連マクロファージについての病理学的・分子生物学的研究</li> </ul>

臨 床 医 学 系	小児科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ脳症の病態解明と治療法開発に関する研究</li> <li>・亜急性硬化性全脳炎（SSPE）に対する有効な治療法開発に関する研究</li> <li>・RS ウイルスと反復性喘鳴との関連に関する研究</li> <li>・エンテロウイルス感染症の分子生物学的診断法の確立とその臨床応用</li> <li>・慢性腎炎に対する新しい治療法開発に関する研究</li> <li>・IgA 腎症の発現に関与するウイルスの役割についての病態病理学的研究</li> <li>・腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割に関する検討</li> <li>・小児悪性腫瘍の標準的治療法確立のための臨床試験</li> <li>・新しい顆粒球輸血療法の確立と臨床応用</li> <li>・神経芽腫に対する phenotype-genotype analysis</li> <li>・川崎病の病態解明と治療抵抗性に関する研究</li> <li>・新生児慢性肺障害の発症機序の解明と新たな治療法の開発</li> <li>・臍帯血中ヒトグルココルチコイドレセプターの発現とステロイド抵抗性に関する検討</li> </ul>
	眼科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢黄斑変性の治療に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・網膜疾患の画像診断（形態と機能の関連）</li> <li>・糖尿病網膜症の分子生物学的研究</li> <li>・脈絡膜新生血管の発症機序解明と薬物治療</li> <li>・斜視、弱視に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・網膜硝子体疾患の手術治療に関する臨床的・基礎的研究</li> <li>・眼部腫瘍の臨床的研究</li> </ul>
	皮膚科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の免疫・アレルギー性疾患の発症機序と治療</li> <li>・自己免疫性水疱症、膠原病、ベーチェット病の発症機序</li> <li>・皮膚硬化の発症機構の解析</li> <li>・乾癬の病因・病態に関する研究</li> <li>・アトピー性皮膚炎の発症機序に関する研究</li> <li>・アレルギー性接触皮膚炎の解析</li> <li>・皮膚悪性リンパ腫の発症機序に関する研究</li> </ul>
	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前立腺肥大症や尿失禁などの排尿障害の改善</li> <li>・腎移植</li> <li>・低侵襲手術</li> <li>・様々な排尿障害病態モデルの作成とそれによる各種排尿障害の病態解明</li> <li>・癌転移に関わる分子生物学的研究</li> <li>・手術や化学療法に変わりうる新しい癌治療の開発</li> </ul>
	耳鼻咽喉科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喉頭、気管などの頭頸部組織再生に関する研究</li> <li>・ウイルスによる聴覚障害とその予防に関する研究</li> <li>・内耳再生に関する研究</li> <li>・音声機能外科における低侵襲手術の開発</li> <li>・頭頸部悪性腫瘍治療における新しい診断・治療技術の開発</li> </ul>
	神経精神医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合失調症の発病機序と治療機序の臨床的・基礎的研究</li> <li>・気分障害の病態生理と治療機序の臨床的・基礎的研究</li> <li>・精神疾患の死後脳の組織学的・分子生物学的研究</li> <li>・精神神経疾患の病因と治療機序についての分子遺伝学的研究</li> <li>・ADHD の精神医学における意義の再評価の研究</li> <li>・児童精神疾患の治療法の研究</li> <li>・心身医学・リエゾン精神医学の臨床的研究</li> <li>・認知症の治療法に関する臨床的研究</li> <li>・てんかんの認知機能障害についての認知科学的研究・臨床薬理学的研究</li> </ul>
	放射線医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CT による癌スクリーニングの研究</li> <li>・CT 透視による胸部腫瘍の生検</li> <li>・3次元表示による Virtual Bronchoscopy</li> <li>・MRI 装置の画像処理フィルターの特性と画質に関する研究</li> <li>・肝臓内の脂肪の定量法の開発とその臨床応用に関する研究</li> <li>・Whole body merged SPECT の臨床的有用性の検討</li> <li>・定位的放射線治療法及び強度変調放射線治療法の研究</li> </ul>
	麻酔科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身麻酔薬と脳内神経伝達物質に関する研究</li> <li>・悪性高熱症関連遺伝子の研究</li> <li>・麻酔とストレス反応に関する研究</li> <li>・麻酔関連薬物の排泄機構と遺伝子多型の研究</li> <li>・福島県における緩和ケアシステム構築に関する研究</li> <li>・三叉神経ブロック法の研究</li> </ul>
	救急医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急医療の質の向上に関する研究</li> <li>・心肺蘇生法の研究</li> <li>・救急搬送システムの解析</li> <li>・重症患者における管理</li> <li>・災害時の救急医療</li> <li>・僻地救急医療の問題と対策</li> </ul>

臨床医学系	病理病態診断学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>リンパ球の分化・成熟、機能に関する研究</li> <li>反応性リンパ節疾患の病理</li> <li>悪性リンパ腫の生物学的特性に関する分子生物学的研究</li> <li>小児腫瘍の病理学的・遺伝子学的研究</li> </ul>	
	感染制御・臨床検査医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床検体からの原因微生物の核酸検出による感染症診断</li> <li>自己免疫疾患の各種検査法の意義と評価（RF、抗核抗体、補体系）</li> <li>急性感染症の早期に働く自然免疫細胞の役割</li> </ul>	
	地域・家庭医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域を基盤としたコモン・プロブレムの診断・治療・予防に関する研究</li> <li>生活習慣病の予防的介入の効果に関する研究</li> <li>患者中心の医療、家族志向ケアの教育効果及び臨床効果に関する研究</li> <li>地域の保健・医療・介護・福祉・教育を包括した取り組みの評価に関する研究</li> <li>医療政策学、医療経済学、地域看護学、医療 IT 学などを含む学際的研究</li> </ul>	
総合科学系	人間科学講座	人文社会科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の近代医学・医療史に関する研究</li> <li>カント倫理学をはじめとするヨーロッパの倫理学研究</li> <li>日本およびフランスの社会保障法・憲法・医事法研究</li> </ul>
	外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語のパラグラフと日本語の段落の構造比較</li> <li>言語現象にかかわる人間の認知能力と運用能力の研究</li> </ul>	
	自然科学講座	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラクタル理論におけるマルチフラクタルの研究</li> <li>代数学におけるデジタル和問題の研究</li> </ul>
		化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャピラリー電気泳動・マイクロチップ電気泳動などによる微量タンパク質解析法の研究</li> <li>アンモニウムトリプロミドによる複素環化合物の簡便な有機合成法の研究</li> <li>遷移金属触媒による新規有機合成反応の開発研究</li> </ul>
		生物学	<ul style="list-style-type: none"> <li>無脊椎動物界にみられるヘモグロビン様タンパク質の構造と機能</li> <li>グロビン属タンパク質における結合酸素の安定化機構</li> <li>ゾウリムシの核分化に伴うゲノム再構成機構</li> </ul>
物理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラドン等自然放射線の測定と解析</li> <li>観測的宇宙論における重力レンズ効果の理論的研究</li> <li>医学部における物理学学生実験テーマの改良・開発</li> <li>和歌等の日本語の統計解析</li> </ul>		
生体情報伝達研究所	生体物質研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>脂質代謝の調節メカニズムに関する研究</li> <li>ストレスによる細胞増殖に関する研究</li> <li>細胞周期特異的なシグナル分子基盤に関する研究</li> </ul>	
	細胞科学研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内におけるタンパク質の品質管理・動態制御・運命決定機構の解明</li> <li>細胞改変・バイオオメガメーキング技法の開発</li> <li>走査／透過型電子顕微鏡・全反射顕微鏡・蛍光相関分光／共焦点顕微鏡による超微細構造と分子ダイナミクスの研究</li> </ul>	
	生体機能研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>哺乳動物の脳神経系における情報処理の機構とその基盤となる神経回路を構築する機構の解明</li> <li>脳神経疾患モデル動物の開発</li> </ul>	
放射性同位元素研究施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESR（電子スピン共鳴）法によるフリーラジカルの計測と解析</li> <li>ESR スピンプローブ法による膜の構造とダイナミクスに関する研究</li> </ul>		
実験動物研究施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験動物における比較生物学・比較生理学的研究</li> <li>実験動物飼育技術の改良と開発</li> <li>動物実験倫理の啓蒙</li> </ul>		

## イ 看護学部

総合科学部門	外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>医学英語研究（「痛み」をはじめとする医学的コンテキストにおける知覚言語の研究）</li> <li>英米文学における「言語と存在」に関する研究</li> <li>英語の語用論</li> </ul>
	心理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスが特に骨成長期にある若年女性の骨形成に与える影響の研究</li> <li>更年期女性におけるストレスと骨量減少・動脈硬化の進展に関する研究</li> <li>現代の青年期心性の表層と深層の乖離に関する研究</li> </ul>
	社会学	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を中心に東アジアの農耕文化、社会に関する研究</li> <li>子育て・子育て支援に関する実践的な研究</li> </ul>
	情報科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健・医療と保険を含む「保健行政」情報の有効利用を行うために疫学や統計学を融合させ、保健分野の情報を科学的に総合的にとらえ、施策に役立てるための研究</li> <li>保健・医療・福祉の超高齢化に対応した地域評価指標の開発やそのデータベース化の研究</li> <li>ホームページを通じた保健教育や手法の提供などの研究</li> <li>国際保健における質の確保のための情報化とその利用の研究</li> <li>健康のモチベーションや行動を要因とした、疾病・介護の発生に関する後ろ向き・前向き疫学研究</li> </ul>

生命科学部門	形態機能学 (解剖学・生理学・病理学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痛覚伝導路の形態学的研究</li> <li>・慢性痛症の発生機序に関する実験病理学的研究</li> <li>・神経損傷の形態学的研究</li> <li>・腫瘍血管の形態学的研究</li> <li>・電子顕微鏡試料作成技術の開発</li> <li>・遺伝子の発現・構造解析</li> <li>・腫瘍細胞の分子生物学的研究</li> <li>・自己免疫の発症機序に関する生化学的研究</li> <li>・代謝異常の分子遺伝学的研究</li> </ul>
	病態機能学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎・アレルギーおよび内分泌代謝疾患における細胞内情報伝達系の解明</li> </ul>
基礎看護学部門	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護実践能力向上に繋がる基礎看護技術の教育方法に関する研究</li> <li>・新人看護師の看護実践能力向上に関する研究</li> <li>・ヘルスケアチーム（チーム医療）構築とチームにおける看護職者の役割に関する研究</li> <li>・福祉領域において求められる看護実践能力と看護職者の役割に関する研究</li> <li>・訪問看護ステーションにおける看護職者が抱えている看護実践力上の課題</li> </ul>
生態看護学部門	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリパレーション導入・定着に向けたアクションリサーチ-多施設協同システムの検討-</li> <li>・退院後の慢性疾患児とその家族への支援に関する研究</li> <li>・福島県における小児救急の課題に応じた看護支援プログラムの開発</li> </ul>
	成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の健康の維持・増進に役立つようなリラクゼーション技法に焦点を当てた研究</li> <li>・がんという病気をもちながら生活をしている人々の体験とそのような人々への看護</li> <li>・造血管腫瘍患者の感染対処に関する研究</li> <li>・看護師の臨床判断に関する研究</li> <li>・壮年期乳がん患者が病気に関する情報を子どもへ伝えていく中での思いに焦点を当てた研究</li> </ul>
	老人看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者を介護する家族の介護負担感に関する研究</li> <li>・認知症高齢者のアセスメントに関する研究</li> <li>・高齢者の意思決定に関する研究</li> <li>・高齢者の生活リズム調整に関する研究</li> <li>・介護老人保健施設の看護師に求められる看護技術</li> </ul>
家族看護学部門	家族看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の親の死を受け入れられない子供の特徴に関する研究</li> <li>・高齢の親の死を受け入れられない子供への看護介入に関する研究</li> <li>・看護場面における効果的な看護面接に関する研究</li> </ul>
	母性看護学・助産学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育における助産師参加型のいのちの教育</li> <li>・思春期ピアカウンセリング活動の効果的普及に関する研究</li> <li>・若者の人工妊娠中絶後の対応と再発防止の支援に関する研究</li> <li>・ウェルネス看護診断に関する研究</li> <li>・青年期の次世代育成力に関する研究</li> </ul>
ケアシステム開発部門	看護管理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療養環境に関する研究</li> <li>・交替制勤務者の睡眠・疲労に関する研究</li> <li>・産業看護職ネットワーク構築に関する研究</li> <li>・地域保健活動に関する研究</li> </ul>
	地域看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生活している人々の健康レベルに応じた支援に関する研究</li> <li>・地域特性を生かしたケアシステム構築に関する研究</li> <li>・在宅療養支援に関する研究</li> <li>・産業看護に関する研究</li> <li>・行政看護に関する研究</li> <li>・療養環境に関する研究</li> <li>・「健康行動」、「健康学習の理論」、「地域看護活動の評価」</li> </ul>
	精神看護学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の地域生活に向けた援助に関する研究</li> <li>・重症患者への臨床活用を目的とする不穏兆候スケールの開発とケアガイドラインの作成</li> <li>・参加型アクションリサーチにおける研究倫理ガイドラインの検討</li> <li>・看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究</li> <li>・精神科救急・急性期病棟での看護に関する研究</li> <li>・研究-実践の連携による家族に対する看護の研究</li> <li>・精神障害者のセルフケア能力を評価する尺度の開発</li> </ul>
応用看護学部門		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん体験者のソーシャル・サポートに関する研究</li> <li>・がんの告知の方法と医療チームのサポートに関する研究</li> <li>・がんサバイバーに関する研究</li> <li>・がん化学療法を受ける患者・家族の療養支援に関する研究</li> <li>・がん患者・家族の悩み相談に関する研究</li> <li>・がん看護における EBP に関する研究</li> <li>・看護師のメンタルヘルスに関する研究</li> <li>・プリパレーション導入・定着に向けたアクションリサーチ</li> <li>・鎮静を受ける子どもに関する研究</li> </ul>

## (3) 大学学生数（県内県外者別）

(22.5.1現在)

区 分		学 年						合 計
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
医 学 部	県 内	44 (11)	44 (11)	41 (19)	44 (9)	29 (10)	24 (8)	226 (68)
	県 外	62 (19)	62 (28)	51 (21)	36 (14)	46 (24)	61 (25)	318 (131)
	計	106 (30)	106 (39)	92 (40)	80 (23)	75 (34)	85 (33)	544 (199)
看 護 学 部	県 内	72 (65)	74 (69)	74 (67)	74 (71)	/	/	294 (272)
	県 外	14 (13)	13 (13)	16 (15)	19 (19)			62 (60)
	計	86 (78)	87 (82)	90 (82)	93 (90)			356 (332)
学 部 合 計	県 内	116 (77)	118 (79)	115 (82)	118 (80)	29 (10)	24 (8)	520 (336)
	県 外	76 (31)	75 (42)	67 (40)	55 (33)	46 (24)	61 (25)	380 (195)
	計	192 (108)	193 (121)	182 (122)	173 (113)	75 (34)	85 (33)	900 (531)

(注) ( ) は女子数で内数を示す。

## (4) 大学院学生数

(22.5.1現在)

区 分		学 年				計		
		1 年	2 年	3 年	4 年			
医 学 研 究 科	博 士 課 程	地域医療・加齢医科学専攻	/	/	6	8	14	
		機能制御医科学専攻			7	16	23	
		神経医科学専攻			8	9	17	
		分子病態医科学専攻			5	13	18	
	医 学 専 攻	28	25	/	/	53		
	博 士 課 程 計		28	25	26	46	125	
修 士 課 程 (医科学専攻)		6	9	/	/	15		
修 士 課 程 計		6	9	/	/	15		
医 学 研 究 科 計		34	34	26	46	140		
看 護 学 研 究 科	が ん 生 精 母 小 地	看 護 学 領 域	/	/	1	4	/	5
		看 護 学 領 域			3	7		10
		看 護 学 領 域			1	10		11
		看 護 学 領 域			2	0		2
		看 護 学 領 域			0	2		2
	看 護 学 領 域	3	2	5				
看 護 学 研 究 科 計		10	25	/	/	35		
合 計		44	59	26	46	175		

(5) 学位授与者数

① 医学博士

(ア) 旧 制

総数	年度	34 年	35 年
217		5	212

(イ) 新 制

年度 総数	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
大学院	-	-	-	11	19	20	13	21	15	6	2	1	0	2	4	1	0	5	1	2
論文	2	8	15	13	42	10	14	20	17	12	6	5	9	6	22	28	30	43	41	36
計	2	8	15	24	61	30	27	41	32	18	8	6	9	8	26	29	30	48	42	38

年度 総数	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大学院	2	2	2	1	3	5	8	8	6	14	7	6	12	13	15	3	11	10	6	10
論文	27	18	30	32	26	35	36	50	46	65	23	48	29	88	39	61	31	30	54	32
計	29	20	32	33	29	40	44	58	52	79	30	54	41	101	54	64	42	40	60	42

年度 総数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	計
大学院	19	12	19	9	16	20	21	21	25	429
論文	23	24	23	16	41	25	15	18	11	1,375
計	42	36	42	25	57	45	36	39	36	1,804

② 医学修士

年度 総数	21	計
大学院	6	6

③ 看護学修士

年度 総数	15	16	17	18	19	20	21	計
大学院	5	5	1	5	5	6	4	31

## (6) 卒業生の状況

〈医学部〉

(22.5.1現在)

区 分	卒業回数	卒業年度	卒業者数	地 域 別		県 内 内 訳					不明	死亡	
				県外	県内	本学	開業医	公立病院	その他病院	その他			
県立専門女子医学校	1	23	107	56	14	—	3	—	1	10	2	35	
	2	24	65	40	6	—	3	—	—	3	4	15	
	3	25	39	18	8	—	3	—	—	5	2	11	
	小 計		211	114	28	0	9	0	1	18	8	61	
県立医科大学(医学部)	旧制	1	28	44	10	13	—	6	—	2	5	—	21
		2	29	49	13	16	—	10	—	—	6	1	19
	小 計		93	23	29	0	16	0	2	11	1	40	
	新制	3	30	39	13	12	—	6	—	2	4	2	12
		4	31	43	14	12	—	5	1	3	3	2	15
		5	32	47	20	18	—	11	1	4	2	1	8
		6	33	50	15	18	—	9	—	2	7	6	11
		7	34	41	9	17	—	9	—	4	4	3	12
		8	35	42	18	17	—	9	—	1	7	2	5
		9	36	42	21	14	—	3	1	4	6	—	7
		10	37	40	13	17	—	10	—	3	4	—	10
		11	38	39	12	23	—	17	1	1	4	1	3
		12	39	41	15	20	—	9	1	5	5	—	6
		13	40	43	22	18	—	10	—	4	4	—	3
		14	41	44	16	20	—	10	—	6	4	5	3
		15	42	52	21	21	—	8	4	5	4	4	6
		16	43	65	32	26	—	17	—	7	2	1	6
		17	44	56	30	18	—	6	—	7	5	4	4
		18	45	58	13	40	—	7	3	20	10	1	4
		19	46	59	27	28	—	18	1	5	4	2	2
		20	47	82	32	43	2	19	4	15	3	3	4
		21	48	67	30	30	—	13	3	10	4	3	4
		22	49	59	27	29	1	12	1	11	4	—	3
		23	50	72	33	34	1	15	3	13	2	2	3
		24	51	64	23	33	3	11	1	11	7	2	6
		25	52	70	28	37	1	18	1	11	6	4	1
		26	53	80	26	47	2	16	2	21	6	5	2
		27	54	56	23	29	—	18	2	8	1	2	2
		28	55	84	17	63	4	18	4	31	6	2	2
		29	56	77	29	41	—	20	4	14	3	4	3
		30	57	80	21	52	5	20	1	18	8	6	1
		31	58	73	28	38	4	9	4	18	3	5	2
		32	59	83	25	54	2	22	4	21	5	3	1
		33	60	88	20	58	8	15	5	28	2	6	4
		34	61	91	31	56	10	9	5	23	9	4	—
		35	62	77	21	48	4	10	3	22	9	6	2
		36	63	92	23	60	6	15	3	31	5	5	4
		37	元	83	25	56	13	13	3	22	5	1	1
		38	2	95	37	46	7	10	4	16	9	11	1
		39	3	86	25	56	14	11	5	21	5	5	—
		40	4	91	36	47	11	6	1	24	5	7	1
		41	5	72	31	38	9	4	4	17	4	2	1
		42	6	86	50	29	8	4	2	11	4	6	1
		43	7	81	28	50	24	1	2	15	8	2	1
		44	8	88	34	48	18	—	3	22	5	6	—
		45	9	72	31	39	21	1	2	8	7	2	—
		46	10	90	40	45	20	1	1	16	7	5	—
		47	11	84	41	40	21	—	1	13	5	3	—
		48	12	78	28	45	28	—	4	12	1	5	—
		49	13	73	35	36	24	—	3	9	—	2	—
		50	14	77	42	32	23	—	—	5	4	3	—
		51	15	85	33	45	22	—	2	19	2	7	—
		52	16	73	40	30	16	—	2	11	1	3	—
		53	17	79	46	30	10	—	—	16	4	3	—
		54	18	82	45	36	12	—	1	21	2	1	—
		55	19	79	43	36	9	—	—	24	3	—	—
		56	20	79	41	38	10	—	2	25	1	—	—
57		21	79	36	40	14	—	4	22	—	3	—	
小 計		3,808	1,515	1,953	387	475	109	738	244	173	167		
合 計			4,112	1,652	2,010	387	500	109	741	273	182	268	

(注) 本学同窓会の資料による。



<看護学部>

区 分	卒業 回数	卒業 年度	卒業 者数	地 域 別		県 内 内 訳				
				県 外	県 内	県	市町村	公立病院	其他病院	その他
県立医科大学 (看護学部)	1	13	87	57	30	10	4	1	15	—
	2	14	86	60	26	12	1	2	11	—
	3	15	83	43	40	15	—	3	18	4
	4	16	81	47	34	10	1	2	21	—
	5	17	90	51	39	2	1	14	19	3
	6	18	88	47	41	—	2	21	17	1
	7	19	89	46	43	2	1	25	15	—
	8	20	83	47	36	—	3	17	15	1
	9	21	92	52	40	—	1	13	23	3
合 計			779	450	329	51	14	98	154	12

(7) 解剖件数

区 分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
正 常 解 剖	55	47	50	34	34	54	57
病 理 解 剖	(12) 87	(7) 65	(3) 54	(9) 53	(10) 80	(15) 64	(3) 64
法 医 解 剖	135	161	129	130	144	184	196

(注) ( ) 内は院外件数で内数を示す。病理解剖には外来死亡患者・死産児を含む。

## (8) 教員等の海外出張状況

## 〈医学部〉

区分 年度	職 種 別					計 人	目 的 別						
	教 授	准教授	講 師	助教、 助手	その他		学 会	医 協 療 方	研 究	留 学	視 察	その他	
昭和41年度	6	1				7	5					1	1
42	6		1	1		8	5		2			1	
43	9	3	1	1		14	7	1	2			4	
44		2	2	2	2	8		5	2	1			
45	5		4	1	1	11	7		2	2			
46	6	3	3	4	2	18	6	5	7				
47	7	4	3	2		16	10	4	2				
48	9	5	3	12	2	31	17	8				6	
49	13	5	4	5	1	28	11	9	2	2			4
50	14	4	5	6	1	30	18	5	2			2	3
51	21	9	8	14		52	19	11	5	4	1		12
52	11	12	7	14		44	22	11	3	3	3	3	2
53	18	14	14	16		62	24	7	3	6	3	3	19
54	19	15	3	30		67	42	13	6	1	2		3
55	12	7	8	26		53	32	8	8	3	1	1	1
56	15	10	6	18		49	33	5	4	5			2
57	13	5	8	17		43	32		1	4	1		5
58	16	9	6	15		46	35	3	1	4	1		2
59	10	8	10	6	1	35	25	3	1	4	2		
60	11	8	5	13		37	27	2	3	2			3
61	12	8	8	10		38	26		6	2	3		1
62	18	8	9	17		52	43		2		5		2
63	21	11	6	20		58	44		11		2		1
平成元	24	10	9	25	1	69	59	3	3		2		2
2	25	12	11	29	2	79	67		8				4
3	33	6	14	42	1	96	84	4	2	4			2
4	24	11	18	34	4	91	68	7	12		2		2
5	32	14	21	42		109	89	5	12	3			
6	37	17	27	55		136	108	4	20	3			1
7	35	20	29	39		123	97	2	13	3	3		5
8	46	18	30	52		146	104	3	22	3	6		8
9	46	14	22	46		128	106	4	9	3	2		4
10	35	19	32	48		134	97	2	21	6	3		5
11	26	16	14	30		86	69	4	8	1	1		3
12	30	18	17	22		87	73	1	4	1	3		5
13	22	8	12	22		64	58	3	2				1
14	24	10	19	26		79	64	3	9		2		1
15	21	16	12	22		71	62	4	5				
16	31	12	15	20		78	72	3	3				
17	31	6	20	21		78	73		5				
18	32	8	11	23		74	66		3		5		
19	28	7	12	26		73	55		8		7		3
20	43	12	14	28	1	98	82		4		6		6
21	38	18	16	24	1	97	82		4		6		5

<看護学部>

区分 年度	職 種 別					計	目 的 別					
	教 授	准教授	講 師	助教、 助手	その他		学 会	医 療 協 力	研 究	留 学	視 察	その他
平成10年度	5		4			9		3	2		4	
11	4					4	1	2		1		
12	6	1	1	8		16	10	1		3	2	
13	1	2	2	1		6	5			1		
14	3		1	4		8	7	1				
15		2	3			5	3		2			
16	4	1	1			6	3				3	
17	5	1		2		8	5				3	
18	4		3	1		8	3		1		4	
19	2		1	1		4	2				2	
20	6		1	2		9	4				1	4
21	2		2			4	4					

(注) 平成18年度までは、准教授とある職種は助教授、助教、助手とある職種は助手と読み替える。

(9) 図書館現況

(22.3.31現在)

	単 行 本	製 本 雑 誌	計	現行学術雑誌
	(冊)	(冊)	(冊)	(種)
和 書	82,230	37,417	119,647	980
洋 書	20,514	72,102	92,616	284
計	102,744	109,519	212,263	1,264

(10) 平成21年度図書館利用状況

	利用者数	図 書 貸 出	
		人 員	冊 数
年 間	(人) 130,821	(人) 11,793	(冊) 22,519
月 平 均	10,902	983	1,877

(11) 平成21年度文献相互貸借状況

貸 (受 付)			借 (依 頼)			
現物貸出	複写受付	計	現物借受	複写依頼	海外利用 (複写)	計
(件) 21	(件) 4,428	(件) 4,449	(件) 23	(件) 3,373	(件) 18	(件) 3,414

## (12) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金額

(単位 千円)

年度 区分	所管	平成14年度				平成15年度				平成16年度			
		応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額	応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額	応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額
特別推進研究	文部科学省	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究		12	91,278	2	28,000	7	51,268	3	27,000	13	73,492	3	27,600
萌芽研究		29	67,760	7	7,500	33	68,055	5	5,600	38	92,074	6	6,200
若手研究(A)		3	21,800	0	0	2	21,060	0	0	1	7,970	1	6,400
若手研究(B)		44	88,361	18	20,500	50	95,113	16	18,500	50	105,336	21	30,000
基盤研究(S)	日本学術振興会	1	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)		3	44,216	0	0	0	0	0	0	1	20,000	0	0
基盤研究(B)		27	227,192	8	41,800	32	182,880	13	58,600	24	163,816	9	32,700
基盤研究(C)		143	322,056	40	54,713	130	285,387	42	61,500	145	349,346	39	56,600
計		262	892,663	75	152,513	254	703,763	79	171,200	272	812,034	79	159,500

(単位 千円)

年度 区分	所管	平成17年度				平成18年度				平成19年度			
		応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額	応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額	応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額
特別推進研究	文部科学省	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究		17	93,580	4	33,200	17	71,760	4	15,200	9	252,290	5	14,700
萌芽研究		44	98,940	10	13,400	49	100,656	8	7,600	0	0	0	0
若手研究(A)		2	14,575	1	8,200	1	3,600	1	3,600	0	0	0	0
若手研究(B)		65	127,709	21	28,900	70	139,100	25	35,700	62	120,916	21	24,600
基盤研究(S)	日本学術振興会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)		0	0	0	0	1	6,906	1	5,500	3	56,200	1	7,000
基盤研究(B)		18	156,801	5	38,600	19	118,816	4	17,800	12	91,343	4	24,300
基盤研究(C)		144	339,104	37	54,200	155	346,599	38	56,400	162	350,514	44	64,100
萌芽研究		0	0	0	0	0	0	0	0	42	71,092	7	7,900
計	290	830,709	78	176,500	312	787,437	81	141,800	290	942,355	82	142,600	

(単位 千円)

年度 区分	所管	平成20年度				平成21年度			
		応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額	応募 件数	応募 金額	交付 件数	交付 金額
特別推進研究	文部科学省	1	193,300	0	0	0	0	0	0
特定領域研究		17	71,182	4	11,000	8	24,000	3	8,100
若手研究(A)		2	5,750	0	0	1	2,740	1	2,100
若手研究(B)		73	148,591	23	30,600	125	238,169	29	32,900
基盤研究(S)	日本学術振興会	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)		4	94,200	1	5,200	2	25,100	1	5,100
基盤研究(B)		18	115,333	5	20,600	22	129,650	6	23,800
基盤研究(C)		177	337,508	44	55,300	172	321,986	49	54,600
萌芽研究		37	71,878	5	5,044	-	-	-	-
挑戦的萌芽研究		-	-	-	-	16	33,049	3	3,900
若手研究(スタートアップ)		17	22,557	2	2,580	32	42,621	6	5,760
計	346	1,060,299	84	130,324	378	817,315	98	136,260	

(注)

平成19年度：  
「萌芽研究」の所管変更  
平成20年度：  
「若手研究(スタートアップ)」の新設  
平成21年度：  
「萌芽研究」廃止  
「挑戦的萌芽研究」新設

## (13) 厚生労働科学研究費補助金額

(単位 千円)

研究事業名	20年度	21年度
	金額	金額
こころの健康科学研究事業	32,500	26,400
政策科学総合研究事業（統計情報総合研究事業）	3,700	3,300
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業	35,000	29,700
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	6,660	6,000
がん臨床研究事業		23,100
地域医療基盤開発推進研究事業		32,700

## (14) 病類別病床数

(22.4.1現在)

病 類	区 分	許 可 床
一 般	核 心	713 (床)
結 核	核 心	14
精 神	核 心	49
感 染 症	核 心	2
計		778

## (15) 等級別病室数病床数室料差額

(22.4.1現在)

等 級	区 分	室 数	病 床 数	室 料 差 額
特 別 室	A	2 (室)	2 (床)	18,900 (円)
〃	B	10	10	6,300
〃	C	54	54	2,940
計		66	66	

## (16) 分娩取扱件数

年 度	件 数
平成 14 年 度	407 (194)
平成 15 年 度	404 (205)
平成 16 年 度	358 (182)
平成 17 年 度	351 (159)
平成 18 年 度	344 (162)
平成 19 年 度	429 (203)
平成 20 年 度	417 (192)
平成 21 年 度	444 (235)

(注) ( )内は異常分娩数で内数を示す。

## (17) 臨床検査件数

検査の種類 \ 年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
一般	138,904	138,533	132,388	200,458	212,869
生化学	1,540,648	1,554,261	1,606,353	1,599,854	1,666,828
血液	241,874	249,770	257,660	261,431	288,249
生理学	30,069	32,556	35,819	37,379	40,370
微生物	38,397	36,431	36,058	38,357	36,164
免疫血清	66,916	66,212	66,504	108,810	125,749
緊急	199,787	187,353	188,021	223,582	239,780
計	2,256,595	2,265,116	2,322,803	2,469,871	2,610,009

## (18) 病理部検査件数

検査の種類 \ 年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
細胞診	4,167	3,991	4,152	4,050	9,550
病理迅速	682	582	610	643	744
病理組織	5,518	5,360	5,683	5,474	5,823
計	10,367	9,933	10,445	10,167	16,117

## (19) X線等照射件数

照射の種類 \ 年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
撮影・透視(CT、MRを除く)	82,573	79,026	76,684	73,961	77,031
C T ・ M R	22,685	22,801	21,464	22,127	23,584
放射線治療	13,176	12,371	13,601	13,612	13,585
核医学検査	3,514	3,282	3,296	3,319	3,296
救急撮影	(9,837)	(9,677)	10,242	10,154	9,383
計	121,948	117,480	125,287	123,173	126,879

※救急撮影については、平成18年度までは再掲の件数だったため（ ）書きとなっている。

## (20) 手術件数

年度 診療科	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
循環器内科	12	19	20	19	33
血液内科		1	19	22	15
消化器内科	12	11	16	22	32
リウマチ・膠原病内科		0	0	0	0
腎臓・高血圧内科	0	0	0	0	0
糖尿病・内分泌代謝内科		0	0	1	0
神経内科	0	0	0	0	0
呼吸器内科	1	0	1	6	10
消化器・一般外科	592	341	355	369	359
呼吸器外科		150	153	167	163
小児外科		144	151	197	189
低侵襲・先端治療外科	424	※1 165	※1 208	※1 214	250
乳腺・内分泌・ 甲状腺外科		※2 146	※2 142	※2 132	
		※3 126	※3 153	※3 133	
脳神経外科	163	123	124	132	203
整形外科	763	850	863	887	946
心臓血管外科	268	271	289	319	303
形成外科	182	216	237	237	230
産科婦人科	441	432	468	493	595
小児科	23	24	6	5	5
眼科	998	1,408	1,073	1,089	1,085
皮膚科	45	46	48	77	89
泌尿器科・副腎内分泌外科	225	269	289	242	259
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	395	382	383	460	403
心身医療科	47	26	65	56	45
放射線科	0	0	2	0	0
麻酔・疼痛緩和科	31	32	31	33	30
歯科口腔外科	79	66	82	99	86
救急科	0	1	2	2	0
計	4,701	5,249	5,180	5,413	5,579

※1 消化器外科Ⅱ

※2 内分泌外科

※3 乳腺外科

## (2) 調剤薬処方数

## (ア) 院 内

年度 種別 区分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	処 方 枚	調 剤 数	処 方 枚	調 剤 数	処 方 枚	調 剤 数	処 方 枚	調 剤 数	処 方 枚	調 剤 数
外 来 (院内)	(99) 24,233	(220) 53,700	(126) 30,934	(277) 67,823	(134) 32,754	(300) 73,440	(136) 33,190	(309) 75,335	(141) 34,063	(326) 78,817
入 院	(276) 100,815	(498) 181,835	(291) 106,207	(521) 190,119	(293) 106,854	(524) 191,128	(305) 111,526	(539) 197,206	(325) 118,605	(576) 210,060
合 計	(375) 125,048	(718) 235,535	(417) 137,141	(798) 257,942	(427) 139,608	(824) 264,568	(441) 144,716	(848) 272,541	(466) 152,668	(902) 288,877

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

## (イ) 院 外

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
院外処方箋枚数	(714) 174,140	(704) 172,426	(724) 177,421	(727) 177,425	(744) 179,938
外来処方箋総数	(813) 198,373	(830) 203,360	(858) 210,175	(863) 210,615	(885) 214,001
発 行 率(%)	87.8	84.8	84.4	84.2	84.1

(注) ( ) 内は一日平均を示す。

## (ウ) 注射薬処方数

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
注 射 薬 処 方 箋	オーダー件数 件 609,095	オーダー件数 件 588,653	オーダー件数 件 615,858	オーダー件数 件 640,489	オーダー件数 件 667,983



## (2) 平成21年度 薬剤管理指導算定数

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
10階西	1回	3	1	0	0	1	1	1	2	2(1)	0	0	2	13(1)
	2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(1)	0	0	1(1)
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10階東	1回	11	13	8	24	23	22	32	20	16	21	36	29	255
	2回	2	1	4	3	5	2	7	7	6	5	2	6	50
	3回	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
	4回	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	4
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9階西	1回	8	6	6	4	11	4	8	6	12	10(1)	13	6	94(1)
	2回	0	0	1	3	1	3	4	2	4	3(1)	1	7	29(1)
	3回	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9階東	1回	1	3	4	5	10	1	7	3	1	2	5	4	46
	2回	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	7
	3回	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8階西	1回	20	2	6	19	16	38	30(1)	16	26	21	26	28(1)	248(2)
	2回	2	4	6	7	8	6	20	12	5	8	6	13	97
	3回	2	2	1	1	0	2	3	4	4	2	4	3	28
	4回	3	0	0	2	2	0	1	1	2	5	0	2	18
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8階東	1回	5	1	4	3	3	3	2	2	8(1)	5(1)	3	7	46(2)
	2回	0	1	3	1	2	3	4	2	1	1	1	3	22
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7階西	1回	27	17	19	17	25	24	17	19	21	21	16	32	255
	2回	3	2	3	4	1	2	8	6	5	9	9	5	57
	3回	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	6
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7階東	1回	6	4	6	6	9	5	9	10	8	7	6	11	87
	2回	1	2	5	4	4	4	4	4	1	0	0	8	37
	3回	0	0	0	1	3	1	0	3	0	0	0	2	10
	4回	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6階西	1回	8	9	10	13	20	22(1)	14	23(1)	23	17	25(1)	23	207(3)
	2回	1	3	8	5	8	3	8	6	6	7(2)	9	7(1)	71(3)
	3回	0	5	3	2	2	3	5	6	3	7	3	5(1)	44(1)
	4回	0	0	1	3	4	4	6	4	2	0	1	0	25
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6階東	1回	15	3	25	24	39(1)	36	51	39	34	38	33	24	361(1)
	2回	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	6
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5階西	1回	11	3	25	23	18	21	25	24	20	16	15	18	219
	2回	0	0	0	0	9	8	11	1	6	5	9	11	60
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	6

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
5階東	1回	16	13	12	18(1)	13	13	15	14	8(2)	18(1)	12	17	169(4)
	2回	2(1)	2	1	3	2	4	3	5	4	5	4	3	38
	3回	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
退院時服薬指導		0	1	1	1	1	0	0	3	2	1	3	0	13
4階西	1回	10	9	11	14	10	12	10	6	14	8(1)	8	7	119(1)
	2回	6	1	3	6	7	6	9	10	6	8	4	5	71
	3回	0	0	2	0	2	2	1	2	2	1	4	1	17
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4階東	1回	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3階西	1回	1	1	0	3	0	3	1	0	0	0	0	0	9
	2回	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MFICU	1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ICU	1回	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	6
	2回	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2階北	1回	5	5	5	2	8	2	2	1	1	2	1	2	36
	2回	1	2	1	2	1	0	0	1	0	0	1	0	9
	3回	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	6
	4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身医療科	1回	1	3	5	8	4	5	4	2	4	0	3	3	42
	2回	0	0	3	1	3	3	2	3	3	3	3	3	27
	3回	1	1	0	1	2	1	3	3	3	3	2	3	23
	4回	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	6
退院時服薬指導		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月計	1回	148	93	147	184(1)	212(1)	213(1)	228(1)	188	198(5)	186(4)	202(1)	214(1)	2,213(15)
	2回	20(1)	18	38	39	53	48	83	60	47	56(3)	50	74(1)	586(5)
	3回	5	10	8	7	11	10	16	21	14	16	14	20(1)	152(1)
	4回	3	0	1	8	6	5	9	7	6	9	2	6	62
退院時服薬指導		0	1	1	3	3	0	3	3	2	1	3	0	20

※ ( ) 内は、麻薬加算 (内数) を示す。

## (23) 病理解剖件数

診療科	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数
循環器内科	28	6	9	3	17	9	15	2	20	4
血液内科			26	7	23	4	36	4	18	0
消化器内科	34	6	26	5	38	13	26	9	18	5
リウマチ・膠原病内科			1	1	6	3	5	3	2	0
腎臓・高血圧内科	5	2	3	0	5	0	3	1	6	1
糖尿病・内分泌代謝内科			2	2	0	0	2	1	2	1
神経内科	5	1	10	2	10	2	5	4	11	2
呼吸器内科	30	12	38	13	32	19	27	15	48	24
消化器・一般外科	10	3	12	3	21	2	26	1	28	3
呼吸器外科			2	0	2	0	3	0	9	0
小児外科			0	0	1	0	0	0	1	0
低侵襲・先端治療科	23	4	※1 12	※1 0	※1 11	※1 0	※1 15	※1 0	6	1
乳腺・内分泌・甲状腺外科			※2 2	※2 0	※2 3	※2 1	※2 2	※2 1		
			※3 5	※3 0	※3 14	※3 0	※3 6	※3 0		
脳神経外科	26	5	20	3	20	0	25	0	14	0
整形外科	2	0	0	0	1	0	2	0	2	0
心臓血管外科	12	4	13	1	18	4	15	1	12	3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産科婦人科	16	6	11	2	14	8	7	1	20	3
小児科	12	0	11	1	6	0	17	3	13	3
眼科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
皮膚科	10	0	5	1	2	0	1	0	2	0
泌尿器科・副腎内分泌外科	11	0	7	0	11	2	3	1	10	2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	10	0	9	0	13	0	7	0	7	1
心身医療科	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	18	1	10	0	9	1	5	0	4	1
麻酔・疼痛緩和科	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	8	1	11	0	11	2	45	2	60	6
計	268	51	245	44	289	70	299	49	328	61
剖検率	19.0 %		18.0 %		24.2 %		16.4 %		18.6 %	

(注) 外来死亡患者・死産児を含まない。

※1 消化器外科Ⅱ      ※2 内分泌外科      ※3 乳腺外科

## (24) 診療科別患者数

## (ア) 外来患者

診療科	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数
循環器内科	28,975	119	27,108	111	30,813	126	23,379	96	23,109	95
血液内科			7,029	29	7,533	31	7,291	30	7,646	32
消化器内科	29,881	122	22,560	92	24,391	100	21,514	89	20,867	86
リウマチ・膠原病内科			8,579	35	10,449	43	7,057	29	7,150	30
腎臓・高血圧内科	31,099	127	14,225	58	14,574	59	10,604	44	11,088	46
糖尿病・内分泌代謝内科			25,722	105	29,305	120	24,086	99	27,041	112
神経内科	10,863	45	11,076	45	13,059	53	10,236	42	10,334	43
呼吸器内科	13,132	54	13,564	55	15,684	64	13,507	56	13,294	55
消化器・一般外科	10,486	43	7,244	30	7,486	31	6,435	26	6,297	26
呼吸器外科			2,981	12	2,819	12	3,014	12	3,347	14
小児外科			1,040	4	1,119	5	1,313	5	1,389	6
低侵襲・先端治療科	13,831	57	※1 3,615	※1 15	※1 3,475	※1 14	※1 3,697	※1 15	6,146	25
乳腺・内分泌・甲状腺外科			※2 4,537	※2 19	※2 4,515	※2 18	※2 4,429	※2 18	12,031	50
			※3 6,320	※3 26	※3 6,823	※3 28	※3 6,750	※3 28		
脳神経外科	9,328	38	8,890	36	8,465	35	7,262	30	6,975	29
整形外科	27,513	113	27,005	110	29,320	120	29,052	120	31,355	130
心臓血管外科	4,660	19	4,718	19	5,101	21	4,721	19	4,517	19
形成外科	5,689	23	5,278	22	5,746	23	5,477	23	5,090	21
産科婦人科	23,194	95	23,512	96	22,180	91	24,586	101	27,147	112
小児科	14,572	60	14,551	59	13,725	56	12,569	52	12,731	53
眼科	25,519	105	26,042	106	28,783	117	31,310	129	33,312	138
皮膚科	17,043	70	19,388	79	18,834	77	16,951	70	17,632	73
泌尿器科・副腎内分泌外科	15,418	63	16,055	66	18,921	77	14,453	59	14,644	61
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	16,393	67	17,325	71	17,106	70	16,118	66	17,309	72
心身医療科	26,788	110	30,343	124	37,478	153	28,595	118	30,337	125
放射線科	38,677	159	39,549	161	41,286	169	25,251	104	14,825	61
(核医学診療室)	(3,445)	(14)	(3,179)	(13)	(3,218)	(13)	(1,749)	(7)	(327)	(1)
麻酔・疼痛緩和科	8,367	34	9,652	39	9,033	37	6,729	28	8,337	34
歯科口腔外科	6,963	29	6,037	25	7,954	32	7,395	30	7,435	31
救急科	3,431	14	4,239	17	3,800	16	3,528	15	3,457	14
合計	381,822	1,565	408,184	1,666	439,777	1,795	377,309	1,553	384,842	1,590

(注) 1日平均患者数は、年度内の延患者数を年度内の外来診療日数で除した数である。

放射線科には核医学診療室分を含む。

(核医学診療室)は再掲。

※1 消化器外科Ⅱ      ※2 内分泌外科      ※3 乳腺外科

## (イ) 入院患者

診療科	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数
循環器内科	19,775	54	10,722	29	8,737	24	10,337	28	11,811	32
血液内科			12,455	34	13,472	37	12,951	35	13,108	36
消化器内科	15,439	42	11,419	31	13,034	36	11,649	32	11,651	32
リウマチ・膠原病内科			2,605	7	2,961	8	2,831	8	2,520	7
腎臓・高血圧内科	15,287	42	6,042	17	5,826	16	6,438	18	5,266	14
糖尿病・内分泌代謝内科			8,311	23	6,660	18	5,896	16	5,233	14
神経内科	7,375	20	5,508	15	7,353	20	5,675	16	6,099	17
呼吸器内科	9,471	26	10,640	29	11,855	32	10,634	29	10,102	28
消化器・一般外科	18,716	51	13,707	38	13,745	38	14,288	39	14,464	40
呼吸器外科			4,447	12	4,235	12	3,979	11	4,456	12
小児外科			1,261	3	1,759	5	2,213	6	2,021	6
低侵襲・先端治療科	16,787	46	※1 7,242	※1 20	※1 8,394	※1 23	※1 7,598	※1 21	7,819	21
乳腺・内分泌・甲状腺外科			※2 2,405	※2 7	※2 2,578	※2 7	※2 2,239	※2 6	6,888	19
			※3 5,953	※3 16	※3 4,682	※3 13	※3 4,795	※3 13		
脳神経外科	9,634	26	7,202	20	6,128	17	6,874	19	7,078	19
整形外科	15,381	42	16,595	45	16,847	46	17,344	48	17,729	49
心臓血管外科	5,890	16	6,362	17	6,800	19	7,038	19	6,907	19
形成外科	4,173	11	4,491	12	4,639	13	4,466	12	4,273	12
産科婦人科	25,379	70	22,232	61	19,498	53	19,215	53	20,498	56
小児科	18,138	50	17,335	47	17,740	48	18,651	51	19,455	53
眼科	11,366	31	14,669	40	13,316	36	13,103	36	12,858	35
皮膚科	4,588	13	4,732	13	4,475	12	4,501	12	4,486	12
泌尿器科・副腎内分泌外科	10,129	28	10,594	29	10,286	28	10,765	29	10,348	28
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	11,754	32	12,759	35	11,472	31	12,033	33	12,481	34
心身医療科	6,856	19	8,632	24	8,811	24	6,107	17	8,078	22
放射線科	5,152	14	3,516	10	2,918	8	1,647	5	1,259	3
麻酔・疼痛緩和科	982	3	170	0	393	1	482	1	360	1
歯科口腔外科	1,165	3	1,020	3	1,456	4	1,974	5	1,376	4
救急科	939	3	1,073	3	1,181	3	1,747	5	1,928	5
(I C U)	(2,143)	(6)	(2,013)	(6)	(1,926)	(5)	(2,112)	(6)	(2,254)	(6)
(N I C U)	(4,542)	(12)	(4,256)	(12)	(4,752)	(13)	(4,636)	(13)	(4,572)	(13)
合計	234,376	642	234,099	641	231,251	632	227,470	623	230,552	632

(注) 1日平均患者数は、年度内の延患者数を暦日数で除した数である。

( ) は再掲。

※1 消化器外科Ⅱ ※2 内分泌外科 ※3 乳腺外科

## (25) 診療項目別稼働額

(ア) 外 来

(単位 千円)

年度 区分 診療項目	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初診料	79,082	2.5%	74,013	2.3%	74,483	2.1%	69,157	1.8%	64,532	1.5%
再診料	196,651	6.3	191,060	5.9	195,983	5.5	199,102	5.3	204,353	4.8
指導料	306,242	9.7	358,662	11.0	404,728	11.4	419,642	11.1	393,864	9.3
投薬料	136,629	4.3	169,531	5.2	203,063	5.7	227,668	6.0	280,409	6.6
注射料	439,047	14.0	455,486	14.0	541,607	15.3	608,509	16.1	723,257	17.1
検査料	853,337	27.2	857,772	26.4	899,800	25.4	954,229	25.2	1,010,983	23.9
画像診断料	535,218	17.0	548,196	16.9	601,634	17.0	617,969	16.3	647,585	15.3
処置・手術料他	389,337	12.4	385,581	11.9	384,035	10.8	449,065	11.9	658,260	15.6
理学精特療法料	158,808	5.1	164,460	5.1	189,006	5.3	190,921	5.0	193,270	4.6
文書料	47,088	1.5	45,960	1.4	49,958	1.4	50,599	1.3	52,793	1.2
容器料	104	0.0	73	0.0	65	0.0	65	0.0	57	0.0
合計	3,141,542	100.0	3,250,794	100.0	3,544,361	100.0	3,786,925	100.0	4,229,363	100.0
患者1人 1日当り稼働額	9,546 (円)		9,845 (円)		10,314 (円)		10,932 (円)		12,021 (円)	

(注) 稼働額とは、病院において行われた診療行為を社会保険診療報酬点数表等により算出した額である。

構成比については、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

平成16年度以降の患者1人1日当り稼働額は、入院中他科受診患者を含めない外来患者数で算出した。

## (イ) 入院

(単位 千円)

診療項目	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
投薬料	123,020	1.1	120,742	1.1	129,483	1.1	140,756	1.2	153,239	1.1
注射料	533,039	4.7	541,127	4.9	402,493	3.5	381,607	3.1	529,967	3.9
輸血料	64,720	0.6	63,721	0.6	66,402	0.6	78,092	0.6	414,850	3.1
検査料	231,356	2.0	209,243	1.9	204,543	1.8	206,413	1.7	212,827	1.6
画像診断料	114,100	1.0	86,410	0.8	91,401	0.8	81,874	0.7	85,005	0.6
処置・手術料	2,662,649	23.4	2,739,832	24.6	3,014,050	26.2	3,294,374	27.0	3,428,277	25.3
麻酔料	427,906	3.8	438,064	3.9	458,494	4.0	471,732	3.9	492,253	3.6
理学精特療法料	152,309	1.3	117,435	1.1	126,571	1.1	104,184	0.9	169,077	1.2
入院料他	6,912,523	60.8	6,758,301	60.7	6,892,542	59.9	7,295,980	59.8	7,866,154	58.1
室料差額	91,349	0.8	15,879	0.1	80,191	0.7	58,932	0.5	81,413	0.6
分娩介助料	47,565	0.4	47,378	0.4	45,131	0.4	86,360	0.7	103,735	0.8
文書料	81	0.0	916	0.0	853	0.0	974	0.0	1,553	0.0
合計	11,360,616	100.0	11,139,047	100.0	11,512,155	100.0	12,201,280	100.0	13,538,350	100.0
患者1人 1日当り稼働額	48,472 (円)		47,583 (円)		49,782 (円)		53,639 (円)		58,721 (円)	

(注) 稼働額とは、病院において行われた診療行為を社会保険診療報酬点数表等により算出した額である。  
構成比については、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

## (26) 公立大学法人福島県立医科大学平成21年度決算に係る貸借対照表及び損益計算書

## 貸借対照表

(平成22年3月31日)

(単位 円)

資産の部			
I 固定資産		32,554,373,645	
II 流動資産		7,322,458,216	
	資産合計		39,876,831,861
負債の部			
I 固定負債		8,071,371,563	
II 流動負債		6,611,580,059	
	負債合計		14,682,951,622
純資産の部			
I 資本金		29,767,011,509	
II 資本剰余金	△	6,036,927,580	
III 利益剰余金		1,463,796,310	
	純資産合計		25,193,880,239
	負債純資産合計		39,876,831,861

## 損益計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位 円)

経常費用			
業務費		26,675,595,932	
一般管理費		592,115,478	
財務費用		87,532,788	
雑損		3,607,266	
	経常費用合計		27,358,851,464
経常収益			
運営費交付金収益		7,172,564,164	
授業料収益		504,666,974	
入学料収益		108,062,400	
検定料収益		18,468,800	
附属病院収益		17,859,638,191	
受託研究等収益		370,961,620	
受託事業等収益		53,123,696	
寄附金収益		462,725,807	
補助金等収益		429,766,879	
財源措置予定額収益		321,039,330	
資産見返負債戻入		554,874,724	
財務収益		1,622,203	
雑益		186,446,987	
	経常収益合計		28,043,961,775
経常利益			685,110,311
臨時損失			
固定資産除却損		26,754,244	
過年度未収財源措置予定額取崩		24,462,000	
その他臨時損失		786,968	
			52,003,212
臨時利益			
保険金収益		12,093,264	
前期損益修正益		42,594,610	
当期純利益			54,687,874
目的積立金取崩額			687,794,973
当期総利益			1,880,732
			689,675,705



## (27) 公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画

## (ア) 予算及び決算

(単位 百万円)

科目	年度 区分	平成21年度		平成22年度	
		予算額	決算額	予算額	構成比
収入					%
運営費交付金		7,513	7,513	8,074	26.8%
補助金		910	1,016	955	3.2%
自己収入		17,218	18,753	19,200	63.6%
授業料及び入学金、 検定料収入		703	712	708	2.3%
附属病院収入		16,329	17,859	18,132	60.1%
財産収入		39	37	38	0.1%
雑収入		147	145	322	1.1%
受託研究等収入及び 寄附金収入等		763	1,171	796	2.6%
長期借入金収入		710	710	604	2.0%
目的積立金取崩		49	324	540	1.8%
計		27,163	29,486	30,169	100.0%
支出					
業務費		25,696	26,781	27,769	94.3%
教育研究経費		3,941	4,080	4,660	15.8%
診療経費		18,924	19,927	20,270	68.9%
一般管理費		2,831	2,774	2,839	9.6%
施設整備費		402	451	412	1.4%
受託研究等経費及び 寄附金事業費等		762	938	718	2.4%
長期借入金償還金		303	284	535	1.8%
計		27,163	28,453	29,434	100.0%

※ 各予算額及び決算額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

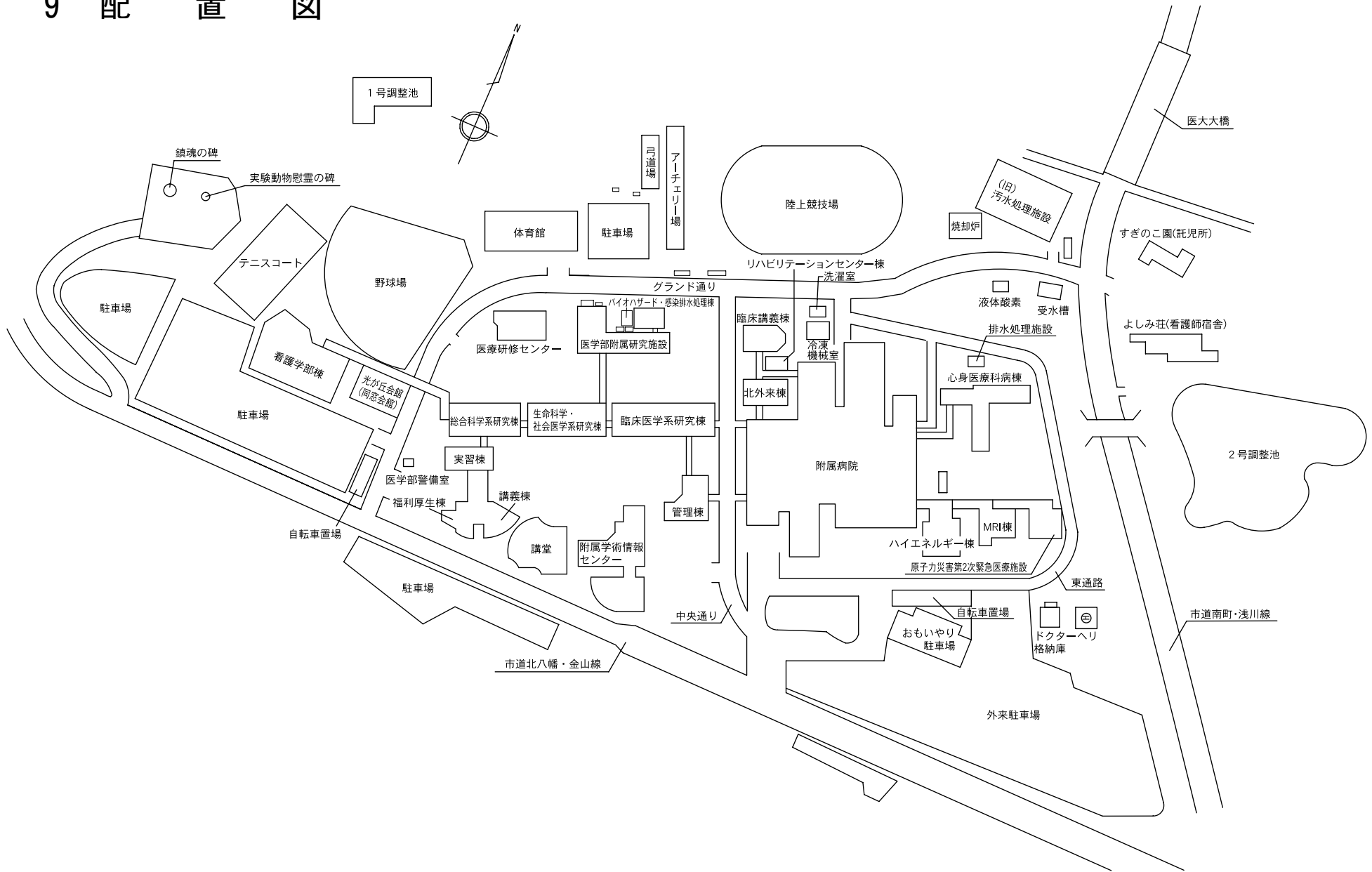
## (イ) 収支計画

(単位 百万円)

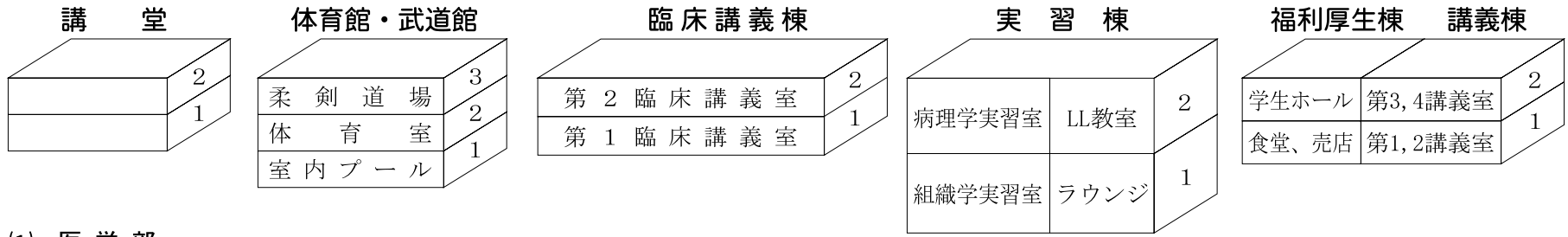
科目	年度 区分	平成21年度		平成22年度	
		計画額	実績額	計画額	構成比
費用の部					%
経常経費		26,827	27,359	28,433	100.0%
業務費		24,954	25,262	26,231	92.2%
教育研究経費		1,427	1,347	1,344	4.7%
診療経費		8,690	10,170	9,986	35.1%
受託研究費等		247	249	270	0.9%
人件費		14,590	13,495	14,631	51.4%
一般管理費		395	494	547	1.9%
財務費用		109	88	102	0.4%
雑損		0	4	0	0.0%
減価償却費		1,369	1,512	1,553	5.5%
臨時損失		10	52	16	0.1%
計		26,837	27,411	28,449	100.0%
収益の部					
経常収益		26,517	28,044	28,890	100.0%
運営費交付金収益		7,514	7,173	7,439	25.7%
補助金等収益		386	430	541	1.9%
授業料収益		488	505	472	1.6%
入学金収益		105	108	104	0.4%
検定料収益		18	18	19	0.1%
附属病院収益		16,329	17,860	18,132	62.8%
受託研究等収益		254	424	298	1.0%
寄附金収益		390	463	387	1.3%
財源措置予定額収益		300	321	620	2.1%
資産見返運営費交付金等戻入		57	65	75	0.3%
資産見返補助金等戻入		2	13	25	0.1%
資産見返寄附金戻入		26	28	24	0.1%
資産見返物品受贈額戻入		461	450	344	1.2%
財務収益		2	2	2	0.0%
雑益		185	186	408	1.4%
臨時利益		0	55	0	0.0%
計		26,517	28,099	28,890	100.0%
純利益		△320	688	441	
目的積立金取崩額		49	2	36	
総利益		△270	690	477	

※ 各計画額及び実績額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

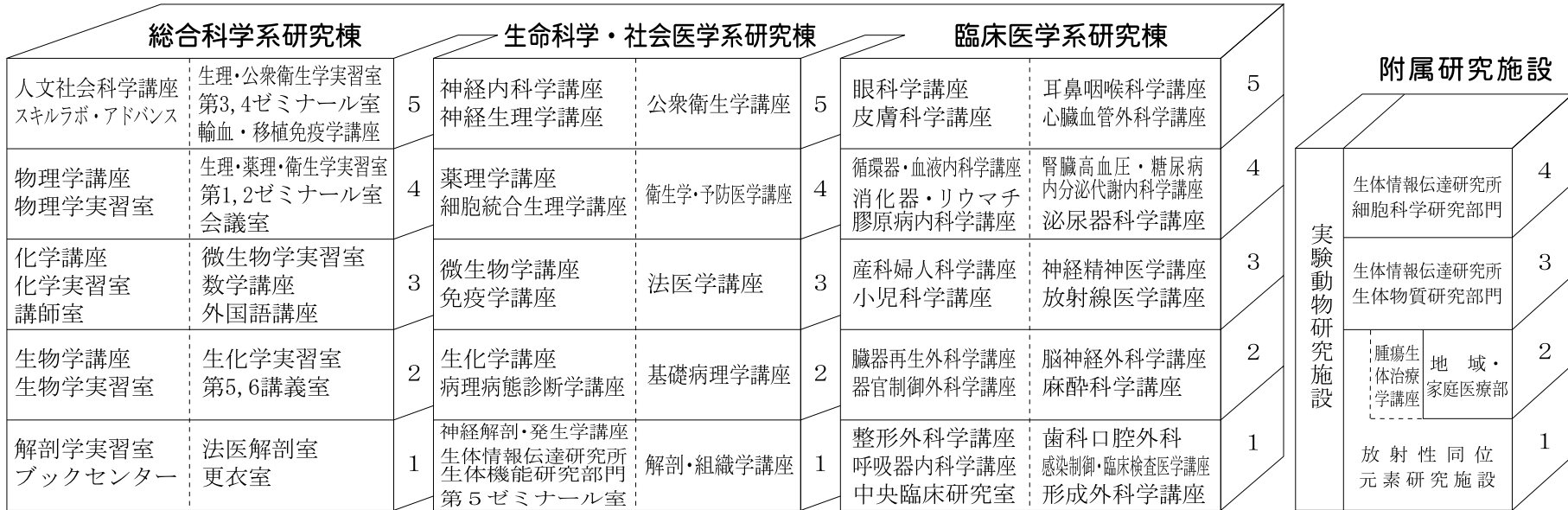
# 9 配置図



# 10 施設概要



## (1) 医学部



(2) 看護学部

看護学部棟				
演習室 大学院看護学研究科		共同研究室 講義室		6
生命科学部門 家族看護学部門	基礎看護学部門 ケアシステム開発部門	生態看護学部門 応用看護学部門	研究室 会議室	5
総合科学部門 ケアシステム開発部門	講義室 カンファレンス室	演習室 研究室	医療工学 講座	4
講義室 LL教室	情報処理演習室 学生ラウンジ		図書ラウンジ	3
実習室 実験室	スキルラボ・ベーシック（実習室C） 大学健康管理センター			2
看護学部長室 会議室	学生課看護学部教務室 実習室			1

(3) 附属病院

附属病院

医療研修センター

附属病院		医療研修センター	
	階数		
10階西病棟	10	10階東病棟	4
9階西病棟	9	9階東病棟	3 研修医のための研修施設 (がんプロフェッショナル養成支援室)
8階西病棟	8	8階東病棟	2 研修医のための研修施設 医療人育成・支援センター
7階西病棟	7	7階東病棟	1 看護師等養成施設 ふくしま医療-産業リエゾン推進室
6階西病棟	6	6階東病棟	
5階西病棟	5	5階東病棟	
4階西病棟	4	救命救急センター	
3階西病棟 (分娩室・新生児室)、総合周産期母子医療センター (NICU、MFICU)、病院長室、副病院長室、看護部管理室、病院経営課、須賀川養護学校医大分校、外来化学療法センター	3	集中治療部 (ICU) 手術部 スキルラボ・手術室 材料部 臨床工学センター	3
外来 (呼吸器内科、呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・内分泌・甲状腺外科、小児外科、低侵襲・最先端外科、脳神経外科、産科、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科・副腎内分泌外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、心身医療科、麻酔・疼痛緩和科、歯科口腔外科)、臨床工学センター	2	2階北病棟 検査部、病理部 輸血・移植免疫部、感染制御部 人工透析室 中央採血室 外来 (形成外科、性差医療センター)	2
外来 (循環器内科、血液内科、消化器内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、心臓血管外科、放射線科、救命救急センター外来、臨床腫瘍センター、リハビリテーションセンター、内科総合外来 (初診)、治験センター、栄養指導室、医事課 (会計受付、入退院受付)、医療連携・相談室、薬渡し窓口、総合受付、共同待合室、守衛室、売店、食堂、バーカリー、銀行、郵便局、コーヒーショップ)	1	1階東病棟 放射線部 核医学診療室 内視鏡診療部 救急医療学講座 物品供給センター	1 心身医療科病棟 高エネルギー放射線治療棟 (H・E) 磁気共鳴画像診断棟 (MRI) 原子力災害第2次緊急医療施設
薬剤部 医療情報部 (病歴) 医事課 (栄養管理)	B1	病理解剖室、感染患者解剖室 霊安室 中央監視室、防災センター エネルギーセンター	

(4) 附属学術情報センター

展 示 館	図 書 館	
管理室・標本展示室・標本製作室 標本収納室・視聴覚教育室	事務室・閲覧室 センター長室・情報管理室	2
	閲覧室 荷解製本室	1

(5) 事務局

管 理 棟		
理 事 長 室 理事室(教育研究担当) 医 学 部 長 室 理事室(企画・人材開発担当) 理事室(管理運営担当)	法 人 経 営 室 総 務 課 室 大 会 議 室	3
学 生 部 長 室 学 生 課	監 事 室 医 療 情 報 部 室 学 生 相 談 室	2
総 務 課 (管財・施設)	理事室(経営・渉外担当) 理事室(会津医療センター担当) 企 画 財 務 課 (研究支援・企画、 財務経理、出納旅費) 医 療 安 全 管 理 部	1

# 11 位 置 図



- JR 福島駅からバスで約30分
- 福島西 IC から車で約20分
- 二本松 IC から車で約20分



---

---

平成22年 福島県立医科大学要覧

編集 公立大学法人福島県立医科大学  
事務局企画財務課

郵便番号 960-1295  
福島市光が丘1番地  
電話 (024) 547-1111(代)  
FAX (024) 547-1991

---

---